

テーマ「市政広報」

本市では、市政情報を正確かつ迅速に皆さまにお届けするため、広報紙をはじめ、ウェブサイトやSNS、その他のメディアを活用し、情報発信をしています。

広報紙では、注目情報や子育て世帯、シニア向けのカテゴリーに分けた情報や、特集記事として市がお知らせしたい情報を発信してきましたが、スマートフォンの普及とともに、近年ますますインターネットやSNSを通じた情報発信の必要性が高まっています。

広報手段の有効性の確認や今後の取組みについて、皆さまのご意見を活用させていただくため、アンケートを実施しましたので、その結果についてお知らせします。（広聴広報課）

調査概要

- 調査期間 令和5年11月6日(月)～11月15日(水) (10日間)
- モニター数 397名 (男性 172名 女性 225名)
- 回答者数 343名 (男性 155名 女性 188名)
- 回答率 86.4%

【分析】

《回答者内訳(人)》

	10～20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	総計
女性	8	34	60	47	35	4	0	188
男性	5	7	34	41	24	30	14	155
総計	13	41	94	88	59	34	14	343

《広報こおりやまについて》

- ・全体の69.1%が「毎月読んでいる」と回答（10～20代を除いた全世代では6割以上）。（問1）
- ・各記事につけたQRコードを「読み取ったことがある」と回答した人は、35.6%であった。（問4）
- ・広報紙を「紙媒体」で希望する方は60.9%、「電子媒体」で希望する方は14.9%、「どちらでも読みたい」方は24.2%であった。（問7）

《市ウェブサイトについて》

- ・「よく見ている」「たまに見ている」の合計は53.7%であり、60代以上の方は、約2割の方が「見たことがない」と回答した。（問13）
- ・トップページのスライドは、2枚目以降を見たことがない方が最も多く、56.9%であった。（問15）
- ・イベントカレンダー機能を知らなかった方は39.9%。見たことがない方は62.6%であった。（問16）

《メディア・SNSについて》

- ・市政に関する情報を収集する手段として最も多かったのは広報紙80.8%、次いで市ウェブサイトが51.6%であった。（問18）
- ・市のSNSで情報を見たことがある媒体は「LINE」が38.8%で最も多かった。一方で、4割の方がどの媒体も見たことがないと回答した。（問19）
- ・市公式LINEのリッチメニューのタブを変えたことがあると回答した方は利用者の46.7%であった。（問23）
- ・市政広報TV番組として見たい内容は、「市からのお知らせや行事・募集などを告知するもの」が67.9%、次いで「市で実施したイベントの様子が分かるもの」が57.7%であった。（問26）

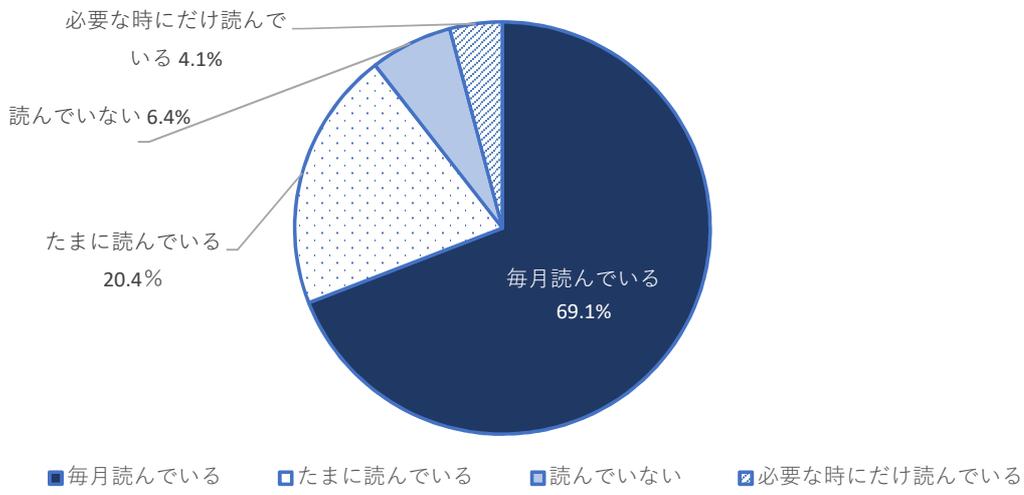
【考察】

- ・広報紙は多くの方に読まれており、市政に関する情報収集手段として1番多く利用されている。「紙媒体で読みたい」との意見が多いため、今後も紙・電子媒体両方での提供が必要である。
- ・市公式SNSについて、4割の方がいずれの媒体も見たことがないと回答しているため、一番認知されているLINEのユーザーを増やししながら、各媒体の利用率を上げる必要がある。
- ・市のイベント、行事を知りたいという方が多い中で、ウェブサイトのイベントカレンダーの機能を見たことがない方が62.6%いるため、便利な機能として各媒体で周知する必要がある。
 - ・市のSNSで一番使われているのはLINEだが、受信設定の必要性やリッチメニューのタブ、ごみの分別機能などの認知が低いため、ユーザーへ各種機能の活用促進を図る必要がある。

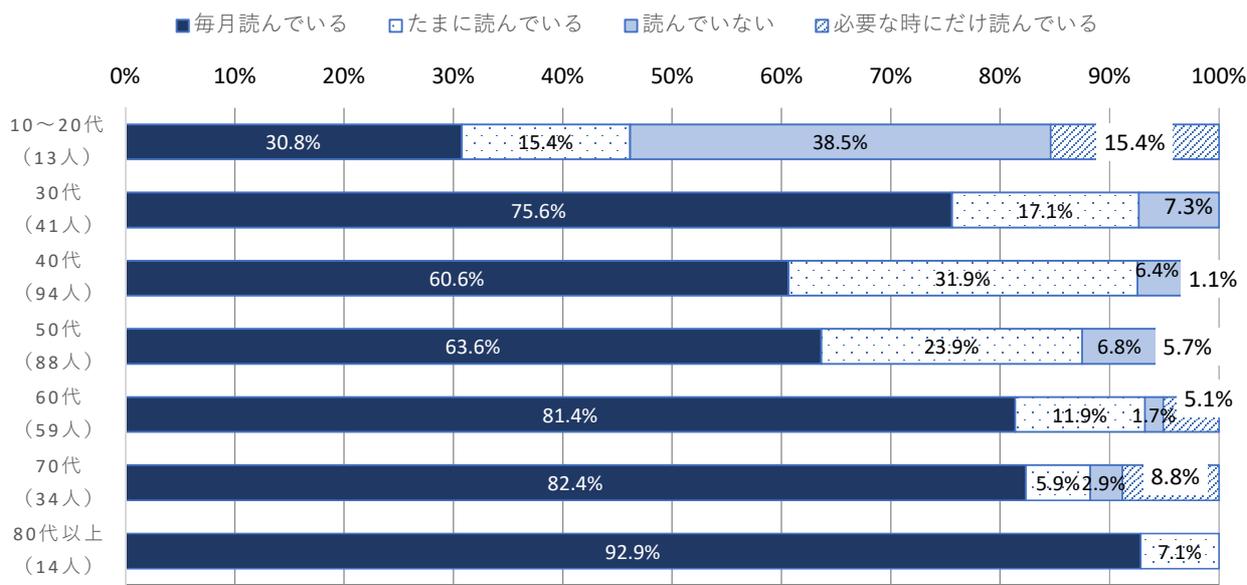
※構成比は、端数を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。

第1章 広報紙全般について

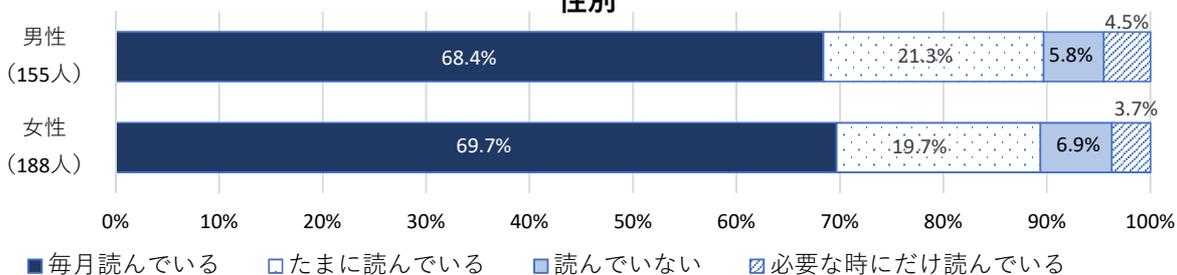
問1 「広報こおりやま」を読んでいますか？（1つ選択） （回答者：343人）



年代別

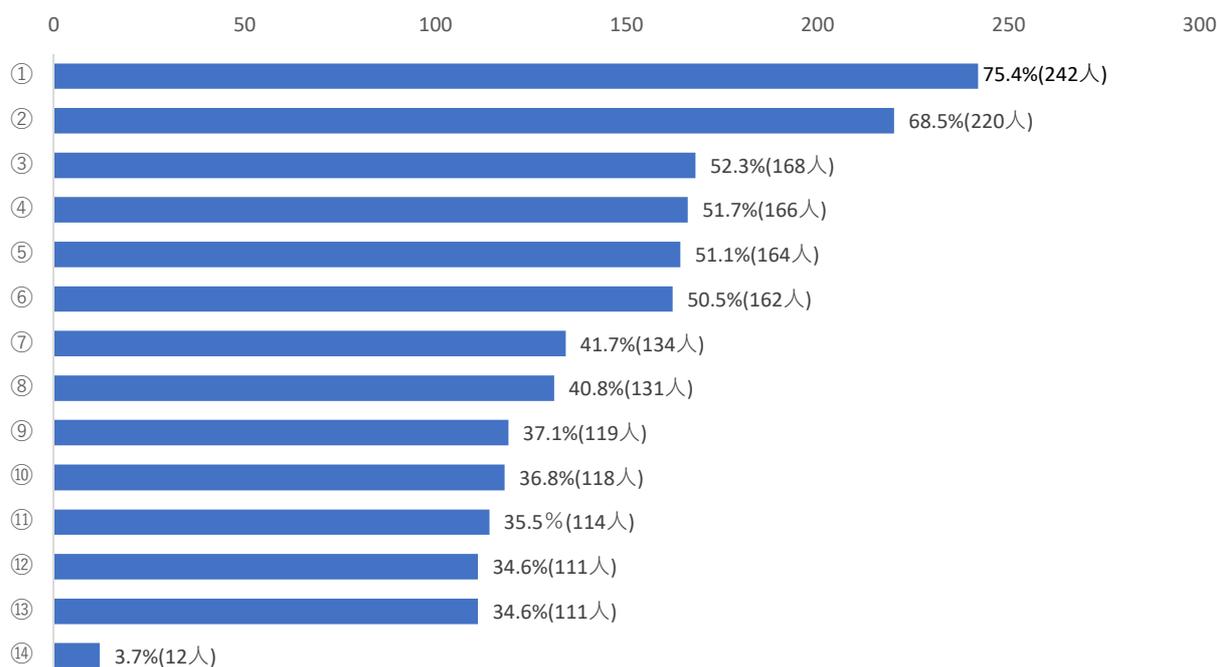


性別



「広報こおりやまを毎月読んでいる」と回答した方は69.1%であった。年代別では80代の92.9%が最も高く、10～20代を除いたその他の年代でも6割以上が「毎月読んでいる」と回答した。

問2 問1で「毎月読んでいる」「たまに読んでいる」「必要な時にだけ読んでいる」を選択した方にお伺いします。「広報こおりやま」のどのページを読んでいますか？（複数選択可）（回答者：321人）



- ①施設や地域のイベント情報（イベントステージ）
- ②特集記事 ※テーマを設けて1～6ページ程度で作成している記事
- ③注目記事（スポットライト） ※発行月前後に係る事業やイベント・協定などで特にお知らせしたい市政情報を掲載している記事
- ④表紙
- ⑤お知らせ情報一覧（ジュークボックス）
- ⑥表紙裏側の見開きページ（目次）
- ⑦夢に向かって頑張る市民・本市出身者（KORIYAMA Dreamer）
- ⑧詩・絵画などで表彰された子ども（こどもギャラリー）
- ⑨市内で活躍している団体情報／市長コラム（We Love Koriyama）
- ⑩コロナに関する情報
- ⑪ 議会・財政状況
- ⑫ 子育てに関する情報（子育てスイッチ）
- ⑬ シニア向け情報（いきいきシニア）
- ⑭その他

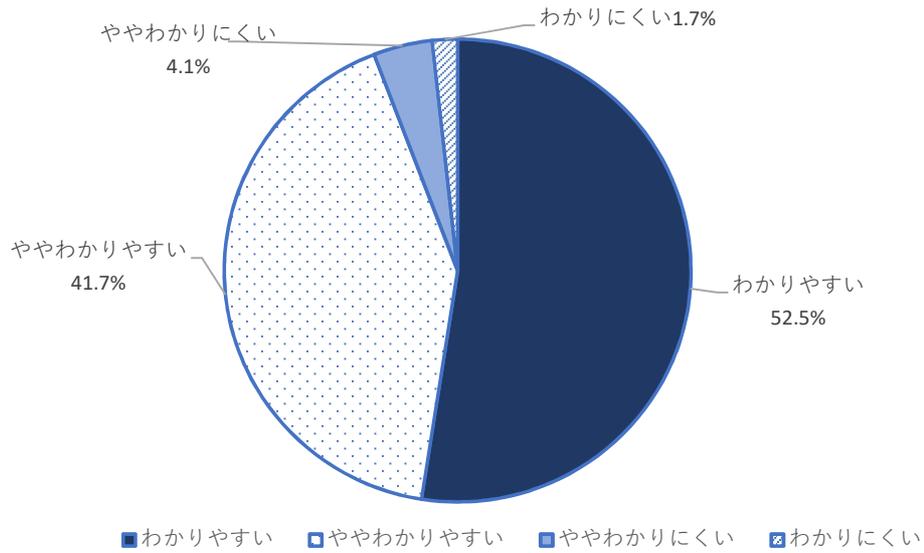
「その他」を選択した方の主な意見

- ・休日当番医の情報
- ・障がい者向けの情報
- ・すべてのページをまんべんなく読んでいる

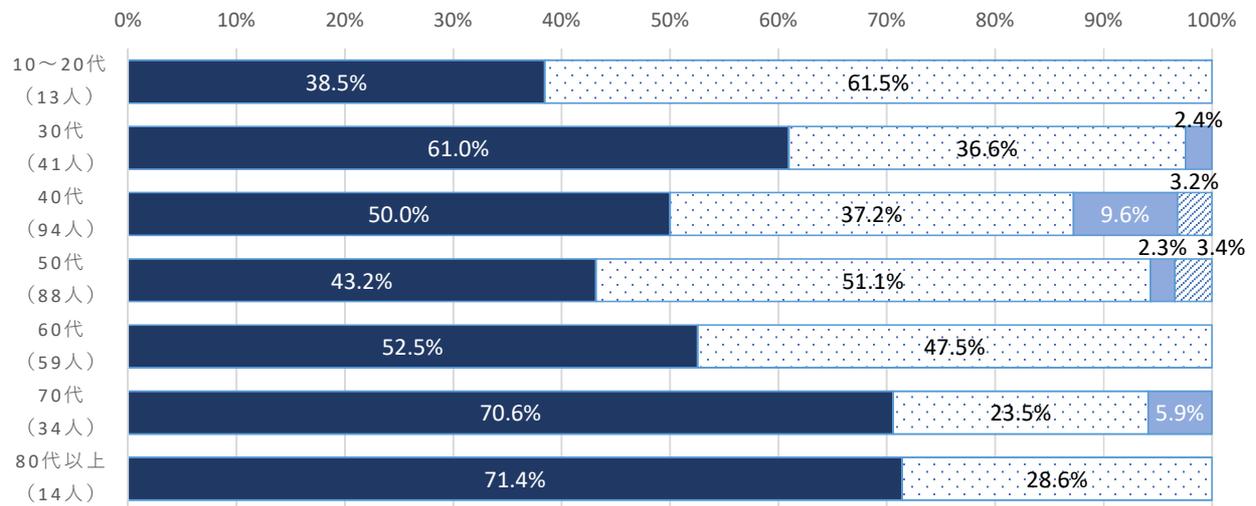
75.4%の方が「施設や地域のイベント情報」と回答。次いで、「特集記事」が68.5%であった。

問3 「広報こおりやま」の掲載情報はわかりやすいですか？（1つ選択）

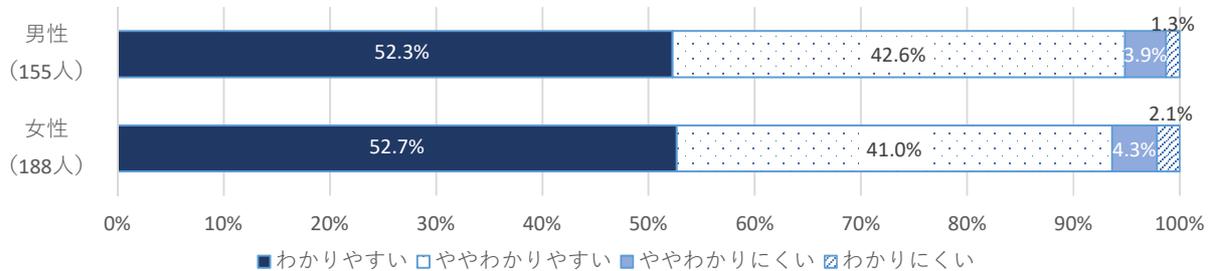
（回答者：343人）



年代別



性別

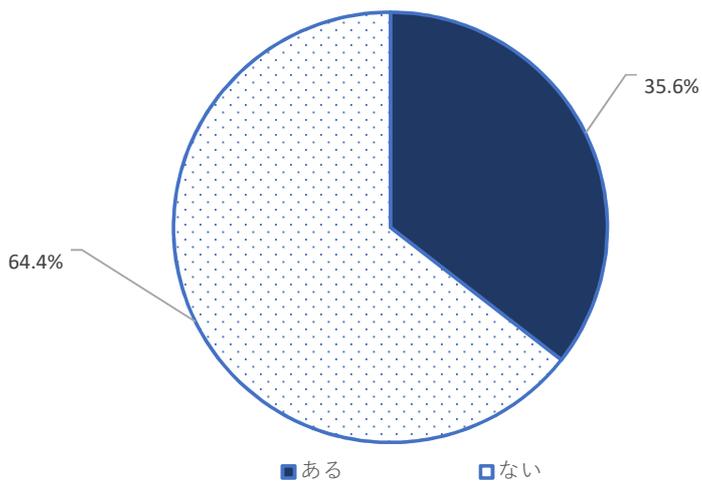


「わかりやすい」「ややわかりやすい」の回答の合計が94.2%であった。30代以上のすべての世代で、43%以上が「わかりやすい」と回答している。

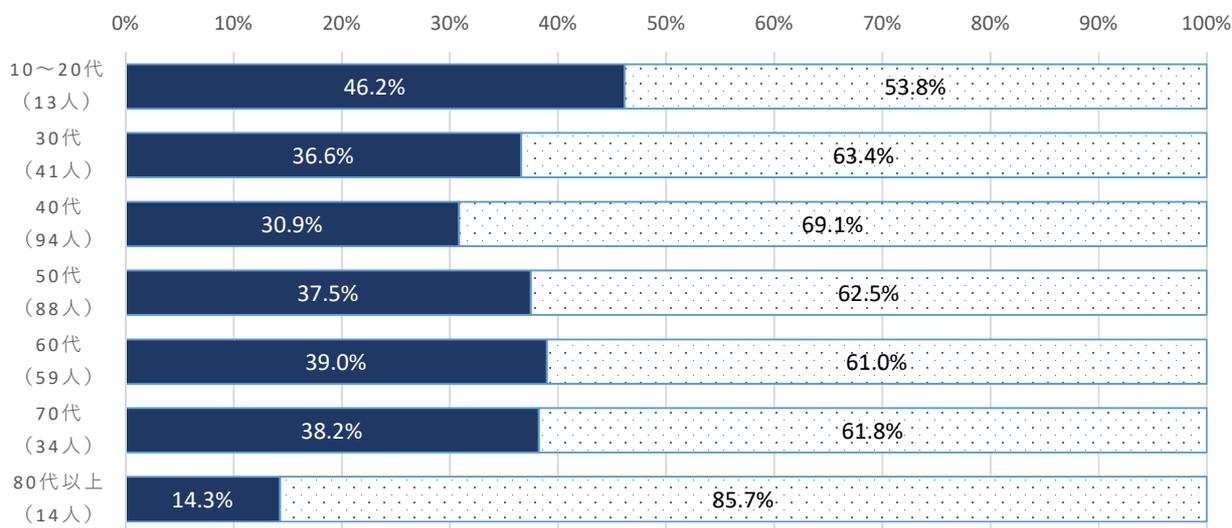
問4 「広報こおりやま」では、各記事にQRコード（※）をつけて詳しい情報をウェブサイトなどで確認できるようにしています。QRコードを読み取ったことはありますか？（1つ選択）

（※）QRコード…(株)デンソーウェーブの登録商標

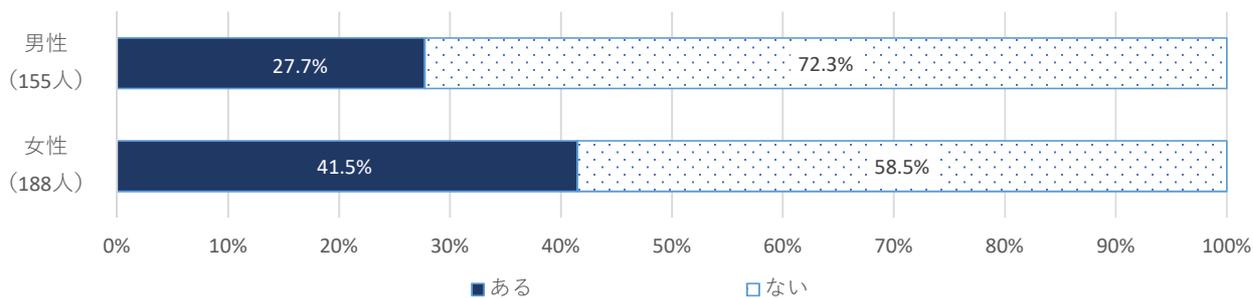
（回答者：343人）



年代別



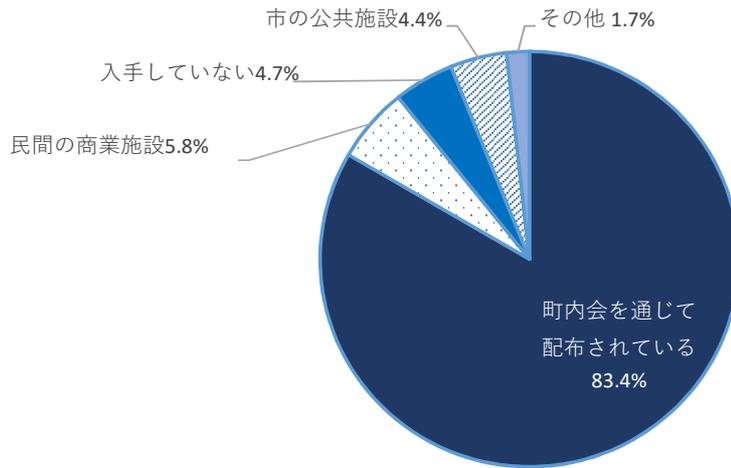
性別



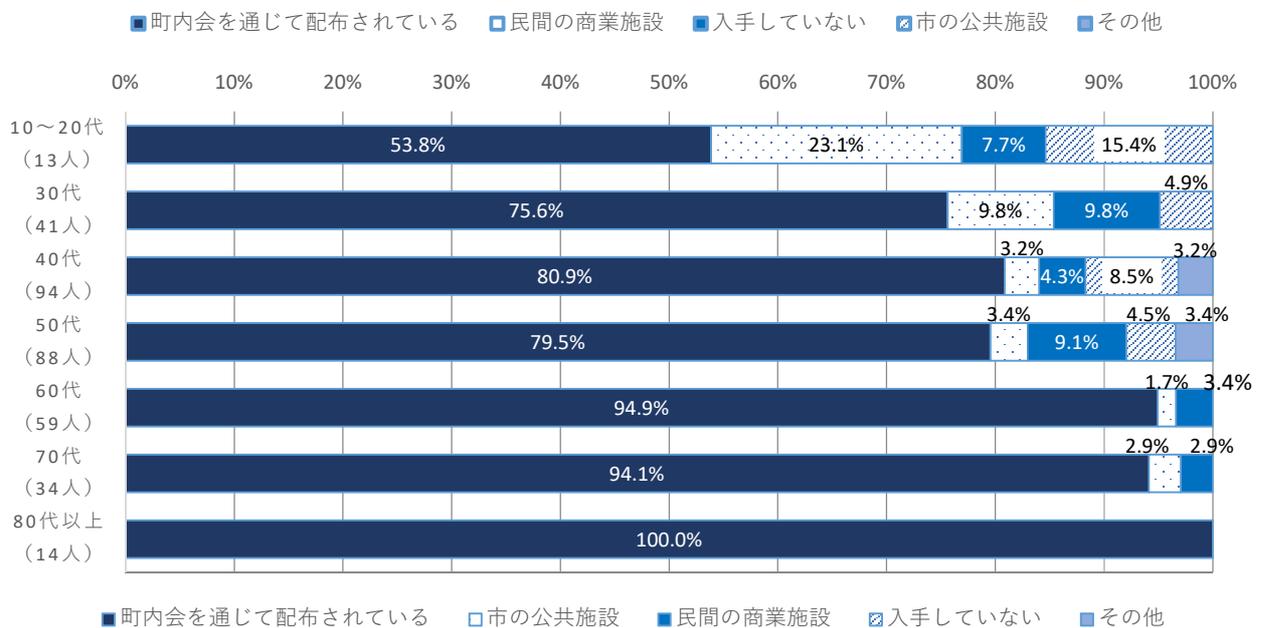
「QRコードを読み取ったことがある」と回答した人は、35.6%であった。年代別では、10～20代が最も割合が高く46.2%、男性より女性の方が13.8%高かった。

問5 「広報こおりやま」をどうやって入手していますか？（1つ選択）

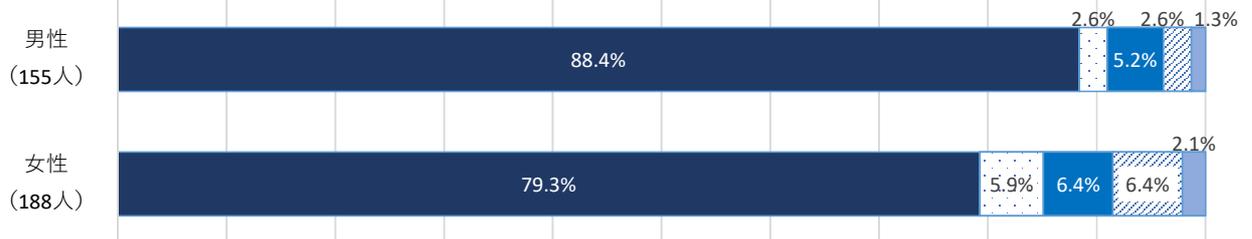
（回答者：343人）



年代別



性別

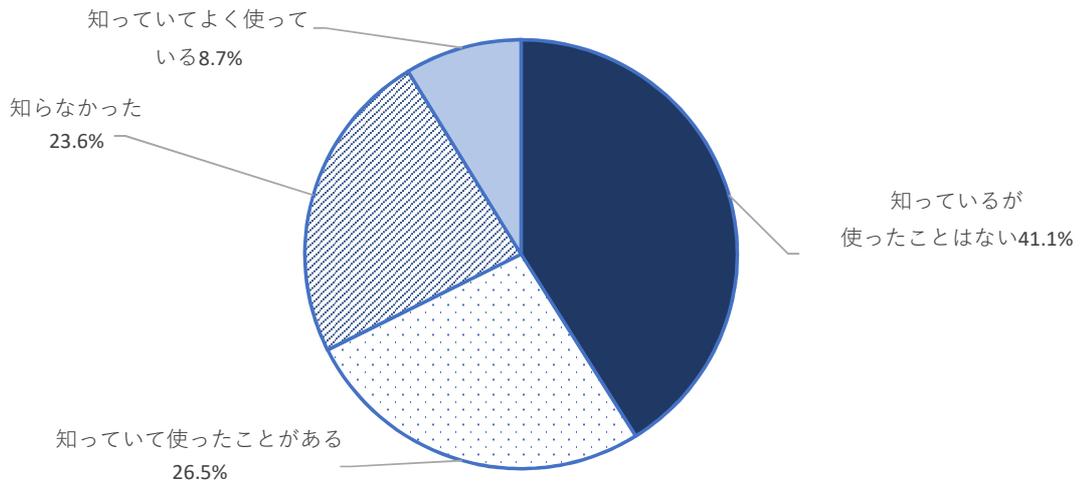


広報こおりやまの入手方法としては、「町内会を通じて配布」が最も多く、83.4%であった。10～20代では、他の世代に比べて「民間の商業施設」の割合が高く、23.1%であった。

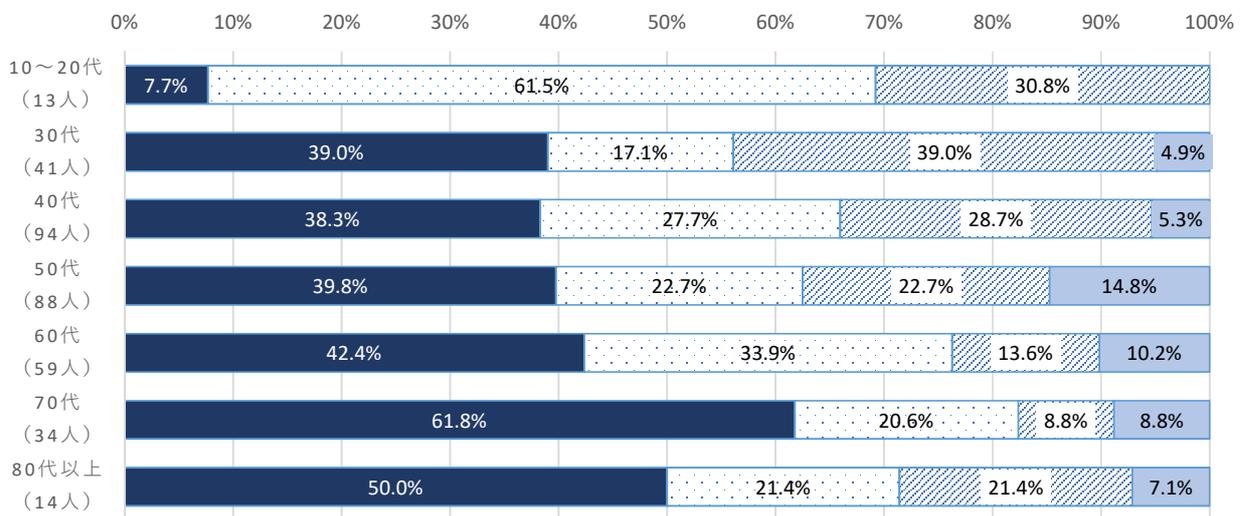
問6 「広報こおりやま」は紙媒体だけでなく、市のウェブサイトやアプリ（※）などの電子媒体でも見ることができることを知っていましたか？（1つ選択）

（※）アプリ…Catalog Pocket（カタログポケット）、マチイロ

（回答者：343人）

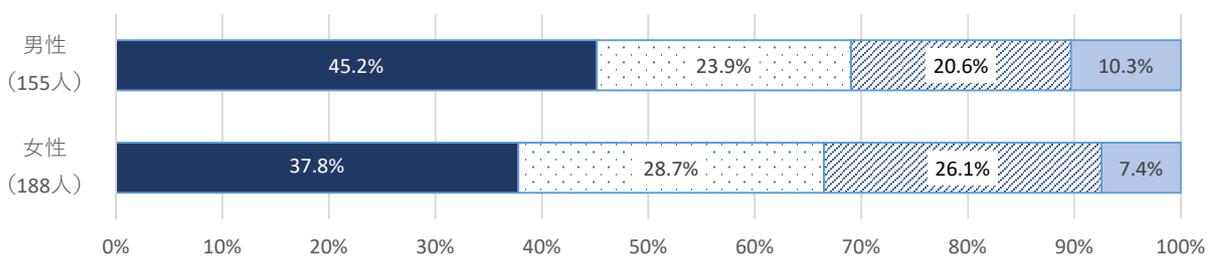


年代別



■知っているが使ったことはない □知っている使ったことがある ▨知らなかった ■知っているよく使っている

性別

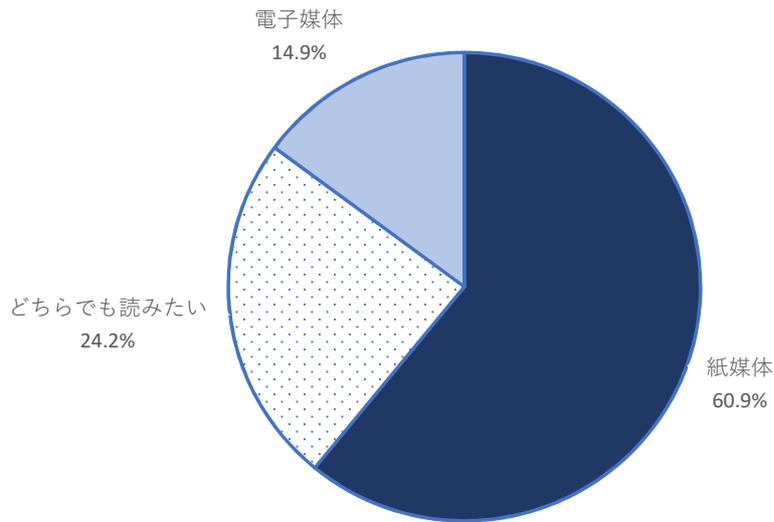


■知っているが使ったことはない □知っている使ったことがある ▨知らなかった ■知っているよく使っている

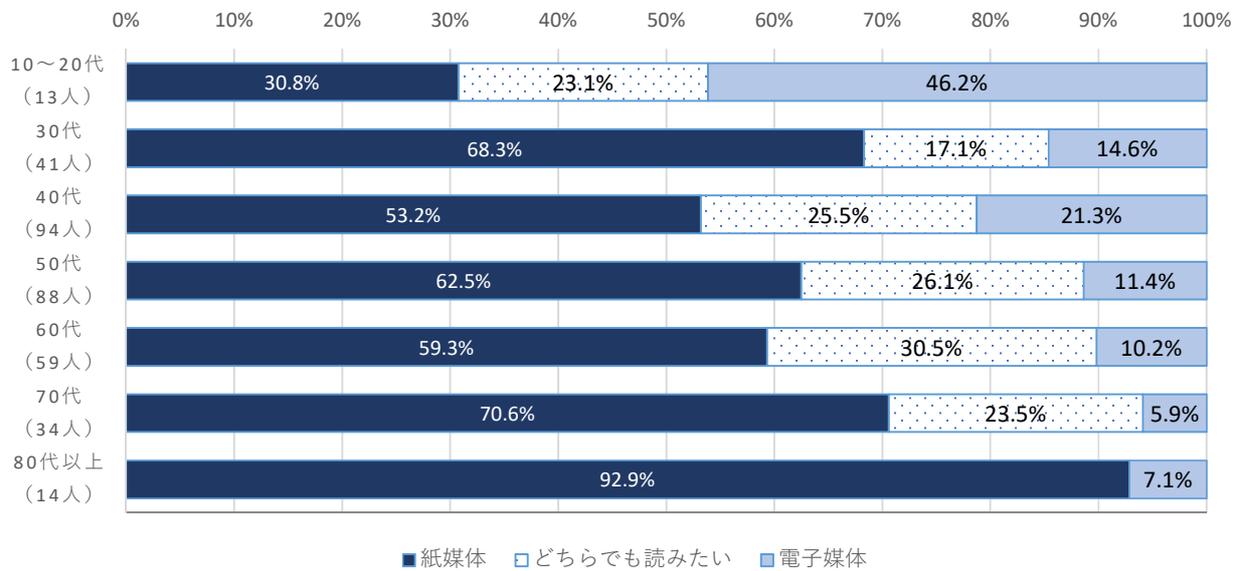
電子媒体の広報こおりやまについては、「知っているが使ったことはない」が最も多く41.1%で、次いで「知っている使ったことがある」が26.5%であった。使ったことがあると回答した方が最も多かった年代は10～20代で、92.3%であった。

問7 今後、「広報こおりやま」を紙媒体と電子媒体どちらで読みたいですか？（1つ選択）

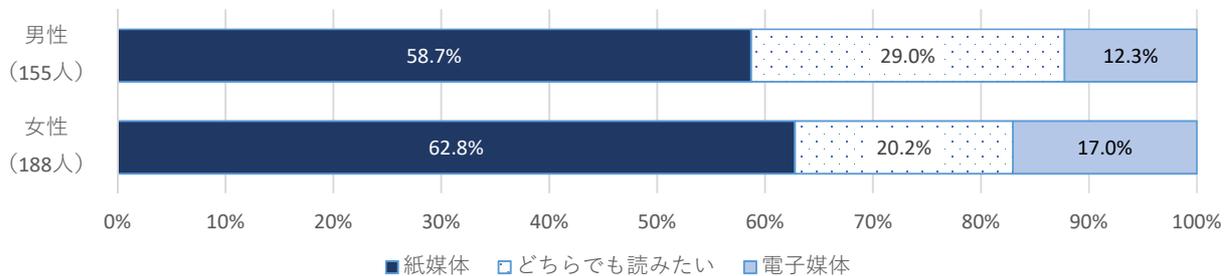
（回答者：343人）



年代別



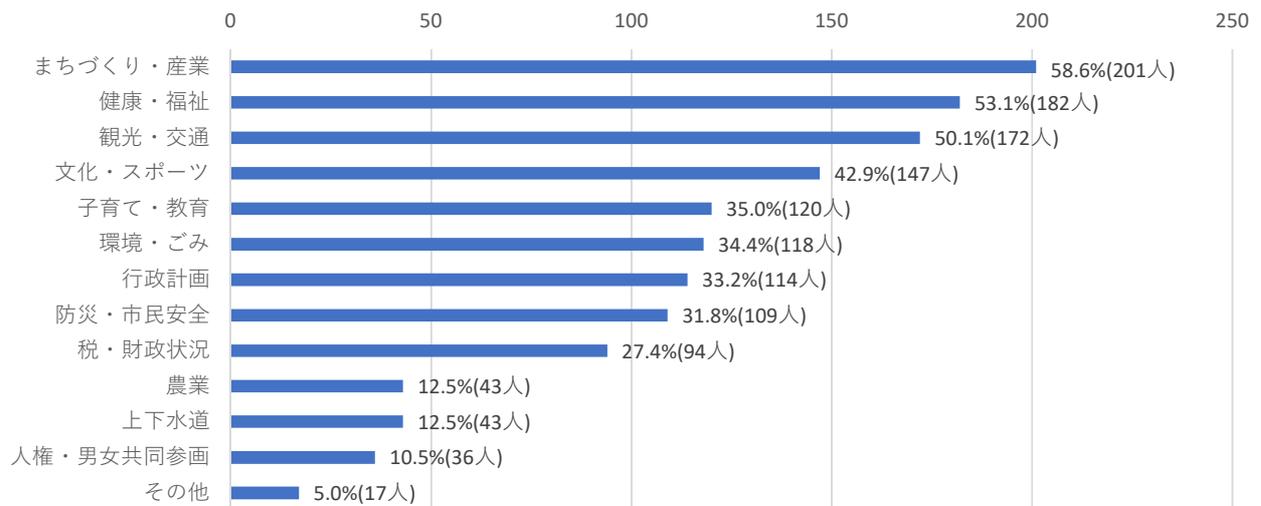
性別



「紙媒体」が60.9%、「電子媒体」が14.9%であった。10～20代を除いた全ての年代で5割以上が「紙媒体」と回答した。「電子媒体」の回答が最も多かったのは10～20代で、46.2%であった。

問8 「広報こおりやま」で情報量を増やしてほしい内容は何ですか？（複数選択可）

（回答者：343人）



※ 「その他」を選択した方の主な意見

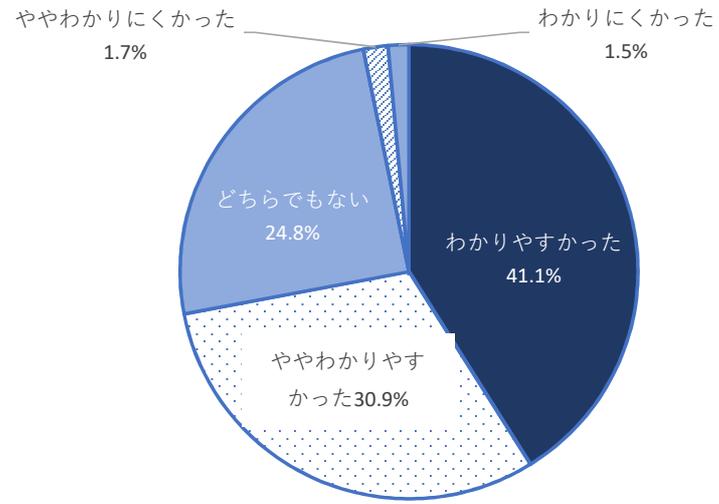
- ・市が主催するイベントや研修など、市民参加型の催物はもっと詳しく載せてほしい
- ・デジタル関連
- ・身体障害者の求人情報
- ・民間のイベント情報（いつも同じところになっているのもう少し違うところのイベント。市が協賛等していないと難しいと思うが・・・。）同じところの情報は飽きが来てしまう。特に毎回掲載のマルシェなど。それは定着してきているのもう少し民間イベントを応援した方が良いと思う。 など

「まちづくり・産業」が58.6%、次いで「健康・福祉」が53.1%であった。

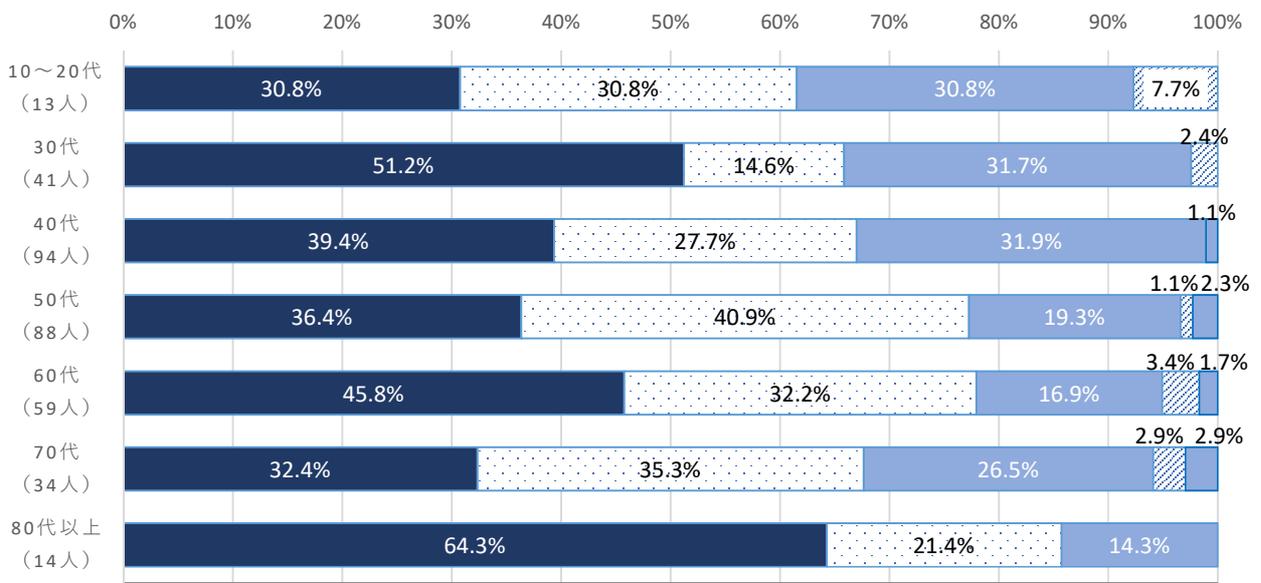
問9から問12は、「広報こおりやま」11月号の4ページ「特集 こおりやまのモノづくり」の記事を読んでお答えください。

問9 記事はわかりやすかったですか？（1つ選択）

（回答者：343人）

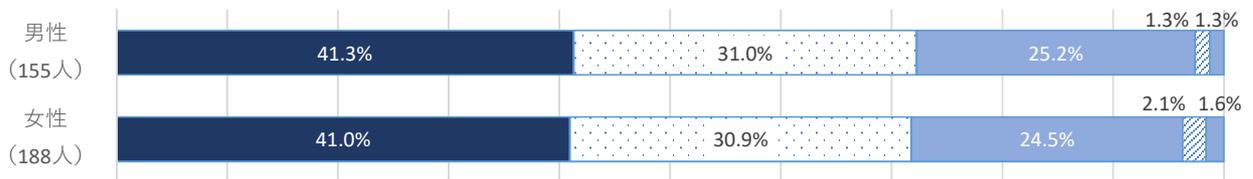


年代別



■わかりやすかった □ややわかりやすかった ■どちらでもない ▨ややわかりにくかった ■わかりにくかった

性別

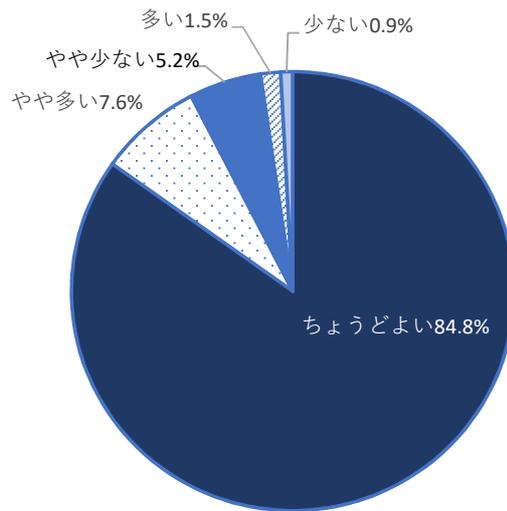


■わかりやすかった □ややわかりやすかった ■どちらでもない ▨ややわかりにくかった ■わかりにくかった

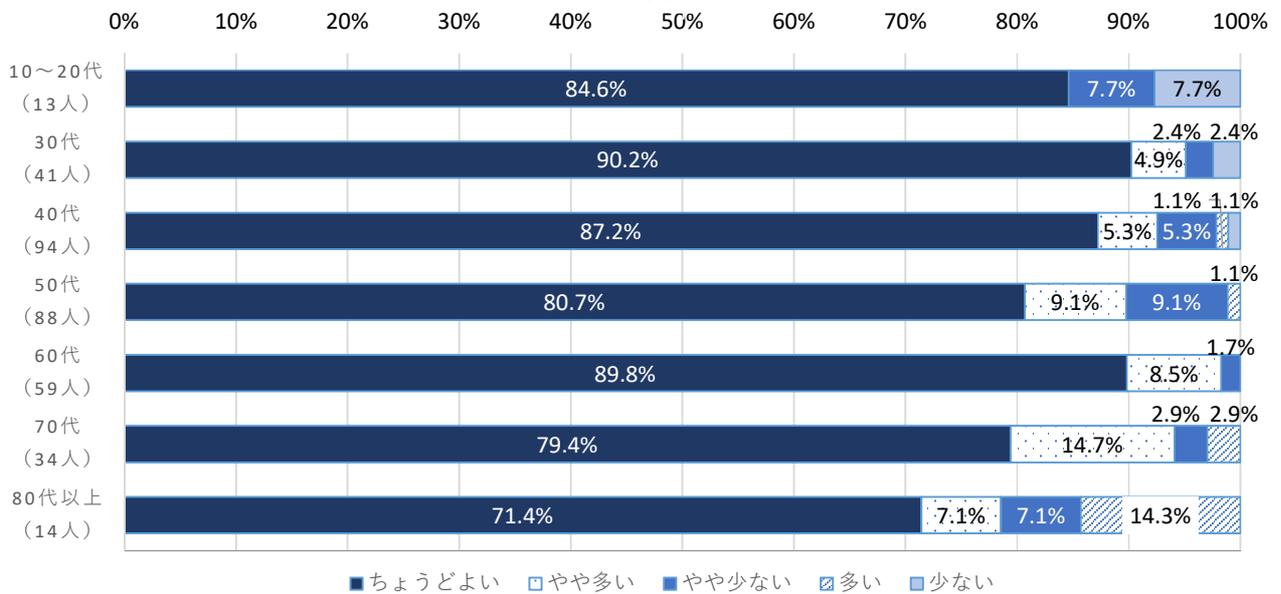
広報こおりやま2023年11月号の特集記事について、41.1%が「わかりやすかった」と回答した。「わかりやすかった」と回答した方が最も多かったのは80代以上で、64.3%であった。

問10 記事のボリュームはどうでしたか？（1つ選択）

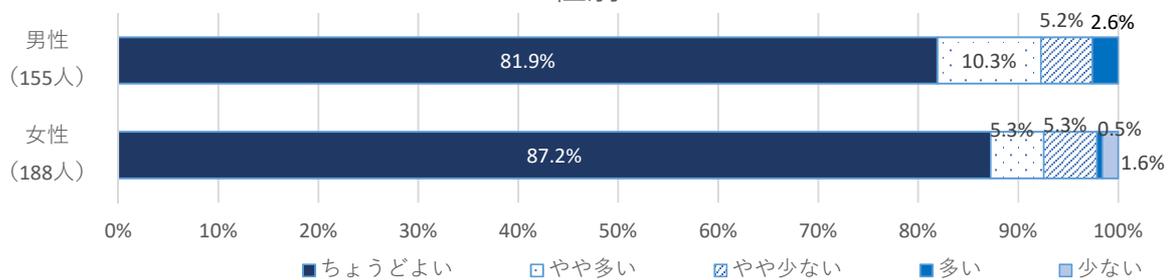
（回答者：343人）



年代別



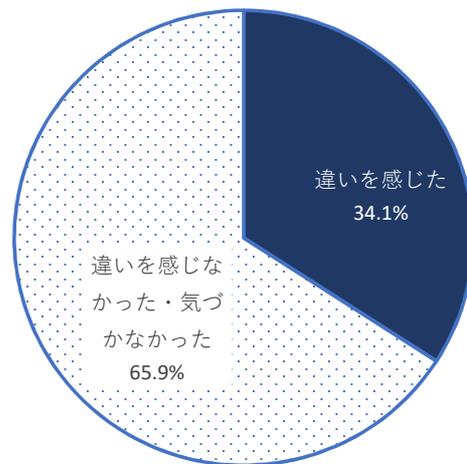
性別



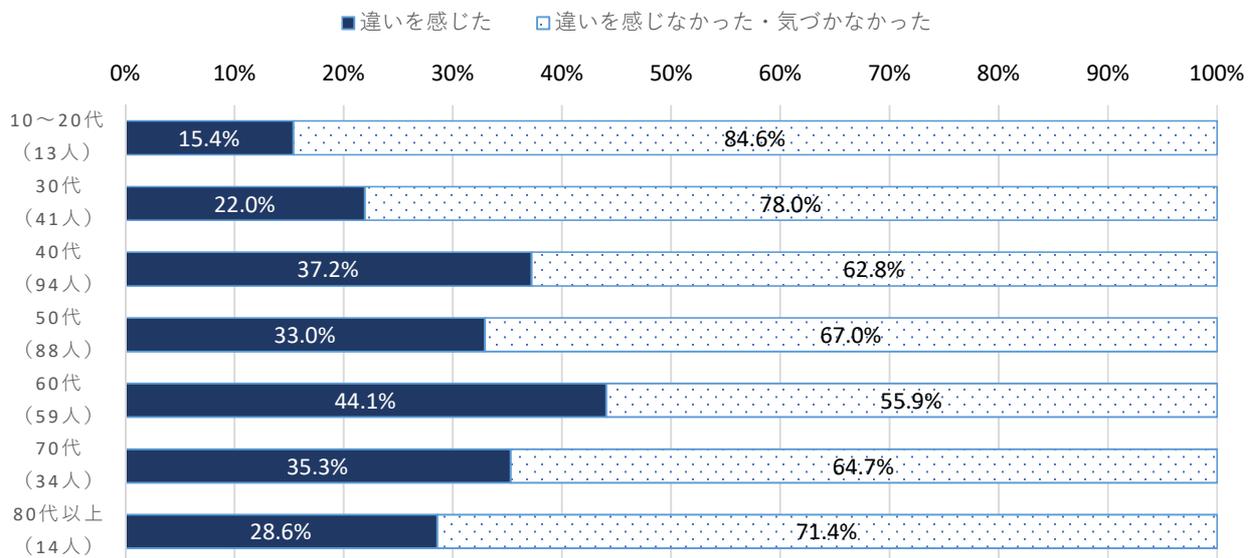
記事のボリュームについて、84.8%が「ちょうどよい」と回答した。多いと回答した方が最も多かったのは80代以上で、14.3%であった。

問11 この特集記事は市ではなく、民間事業者が作成しました。他のページとの違いを感じましたか？（1つ選択）

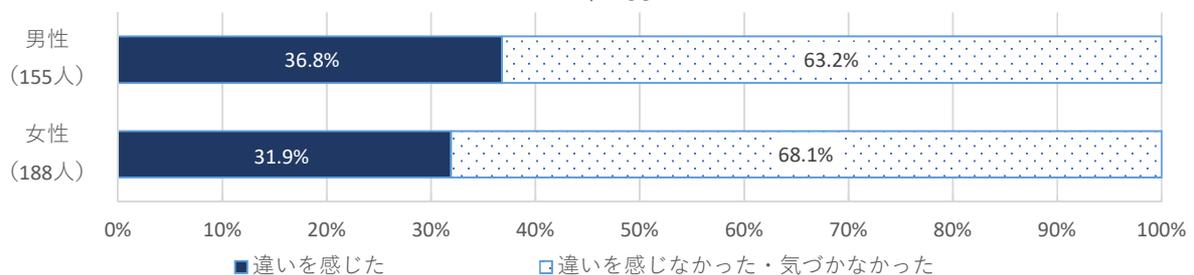
（回答者：343人）



年代別



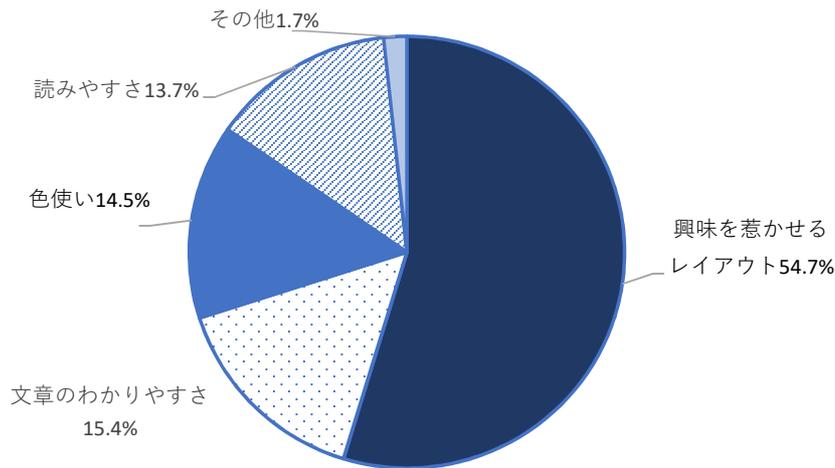
性別



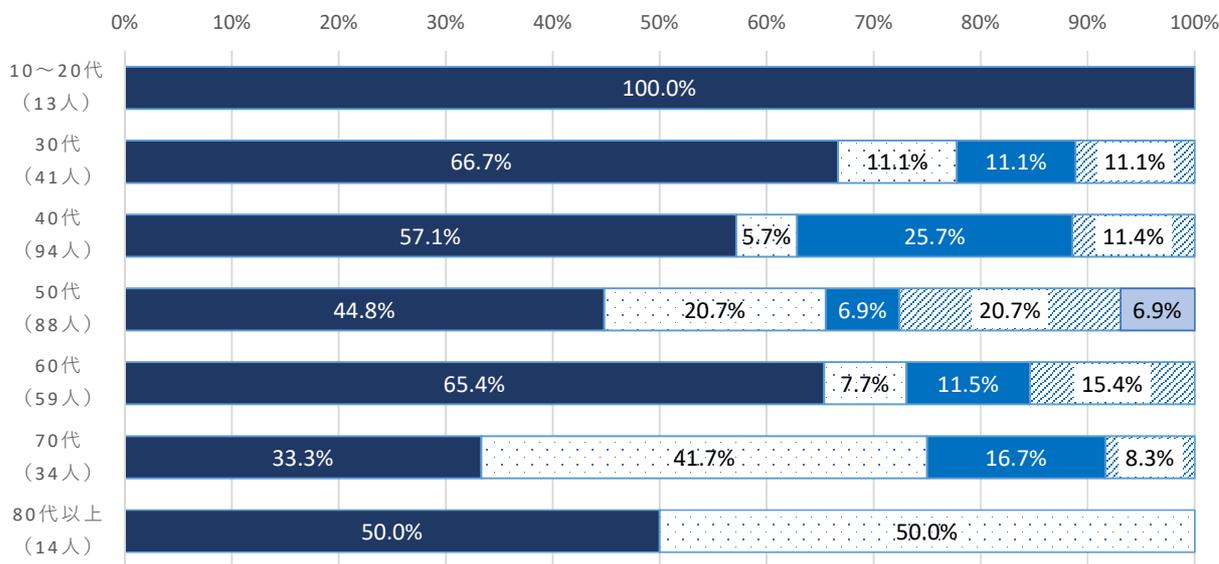
職員が作成した記事と民間事業者が作成した記事で、34.1%が「違いを感じた」と回答した。

問12 違いを感じた方にお伺いします。どういった点に違いを感じましたか？（1つ選択）

（回答者：117人）

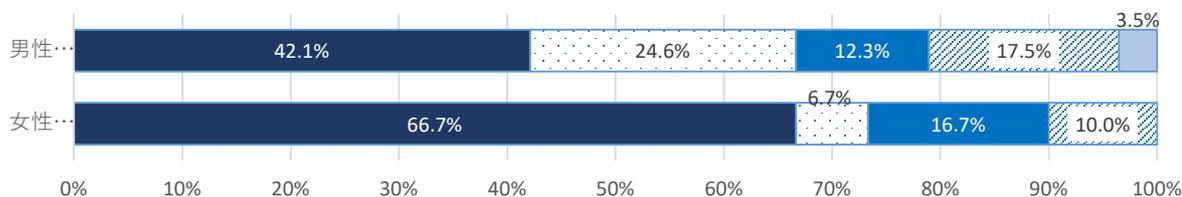


年代別



■興味を惹かせるレイアウト（構成） □文章のわかりやすさ（表現力） ■色使い
 ▨読みやすさ（文字の大きさ、文字量） □その他

性別

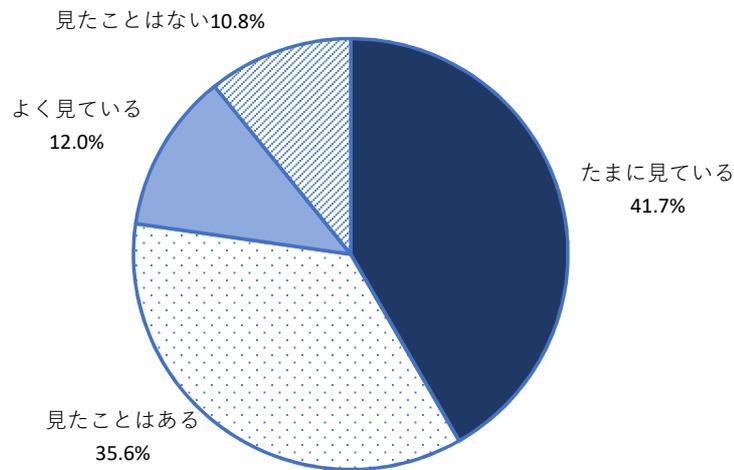


違いを感じた点として「興味を惹かせるレイアウト」が54.7%で最も多く、次いで「文章のわかりやすさ」が15.4%であった。

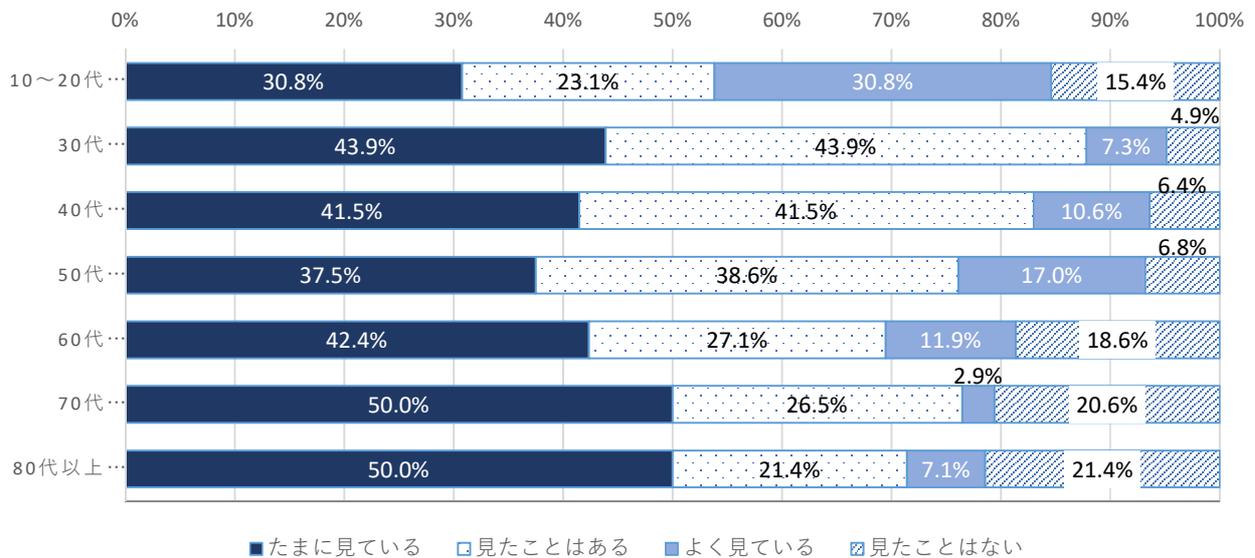
第2章 ウェブサイトについて

問13 市ウェブサイトを見たことはありますか？（1つ選択）

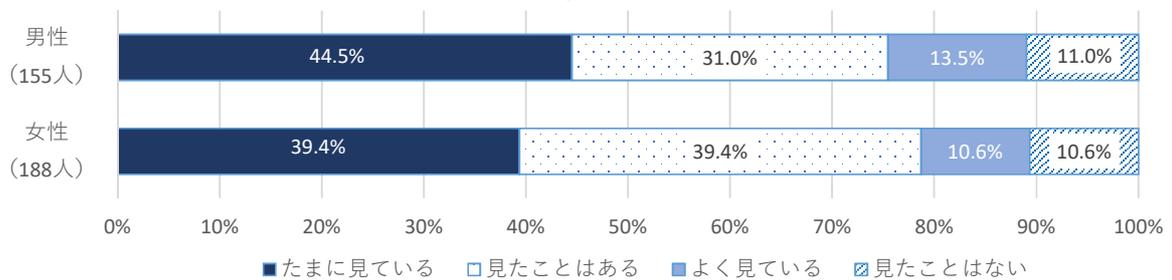
（回答者：343人）



年代別



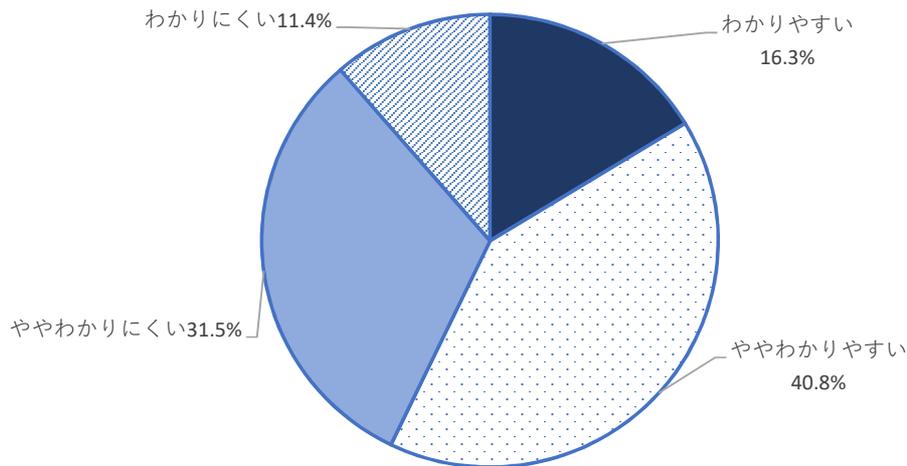
性別



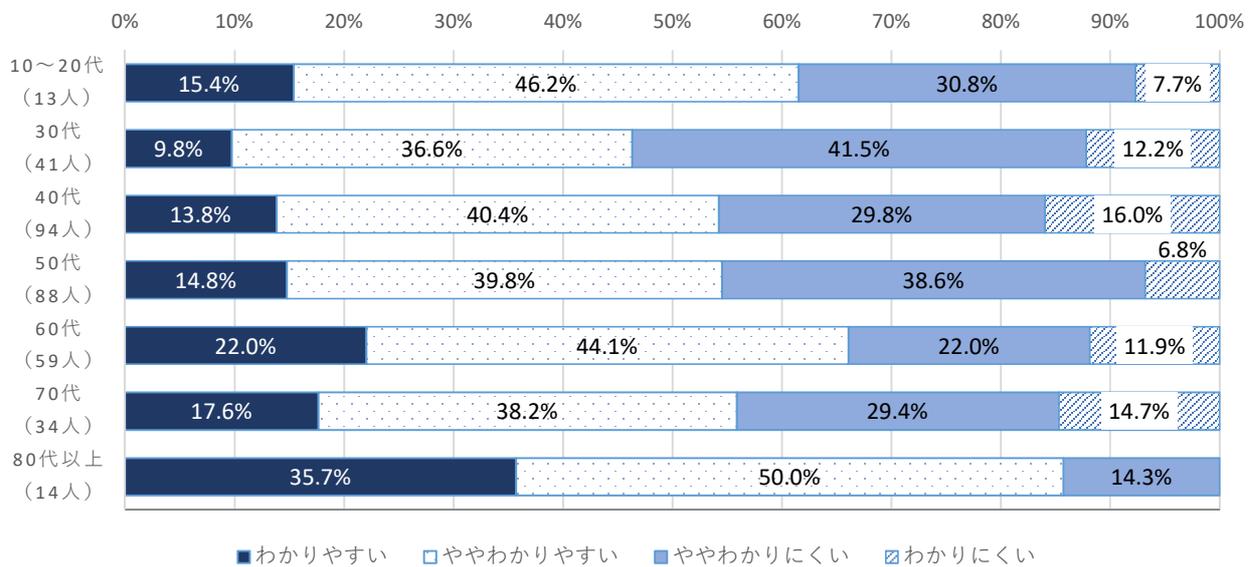
市ウェブサイトについて、「たまに見ている」と回答した方が最も多く41.7%であった。60代以上では、約2割が「見たことがない」と回答した。

問14 市ウェブサイトはわかりやすいですか？（1つ選択）

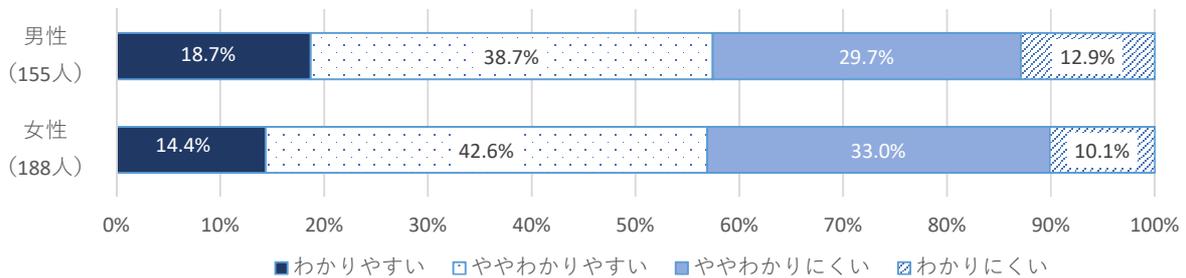
（回答者：343人）



年代別

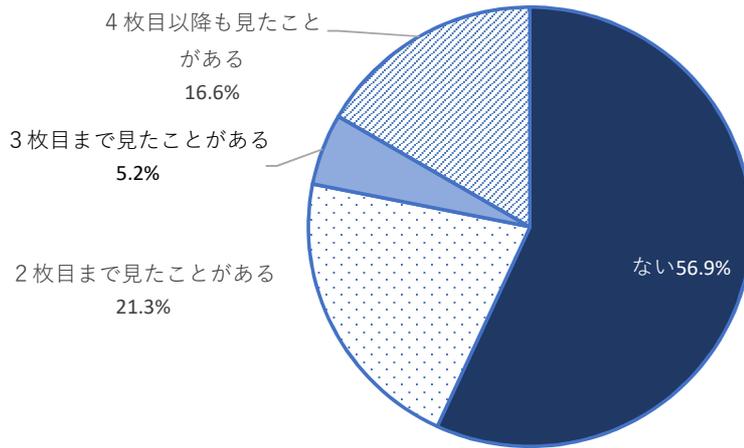


性別

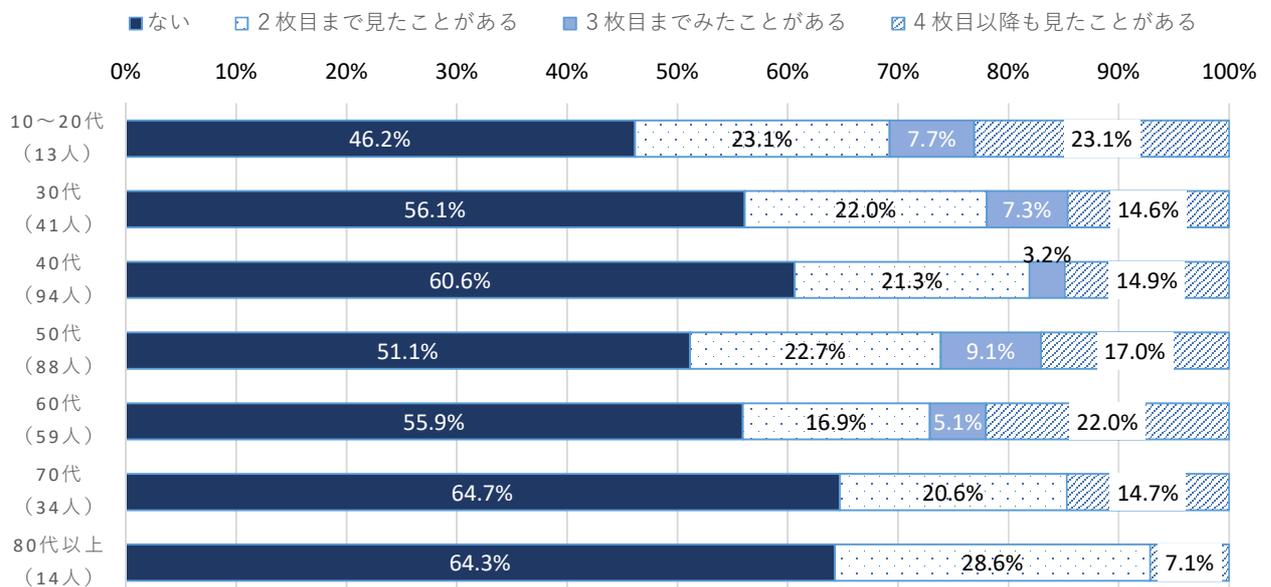


市ウェブサイトについて、「ややわかりやすい」と回答した方が最も多く40.8%であった。年代別では、すべての世代で46%以上が「わかりやすい」「ややわかりやすい」と回答した。一方で、42.9%の方がわかりにくさを感じている。

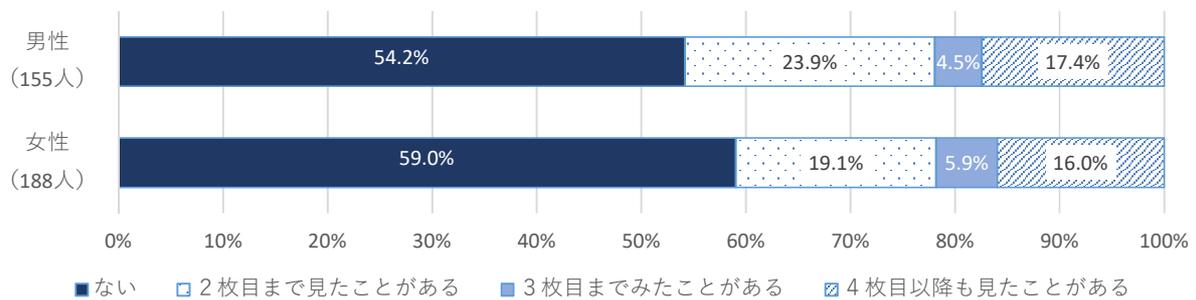
問15 市ウェブサイトのトップページ最上部の大きい画像（スライドバナー）は、5秒ごとに入れ替わります。2枚目以降を見たことがありますか？（1つ選択）（回答者：343人）



年代別



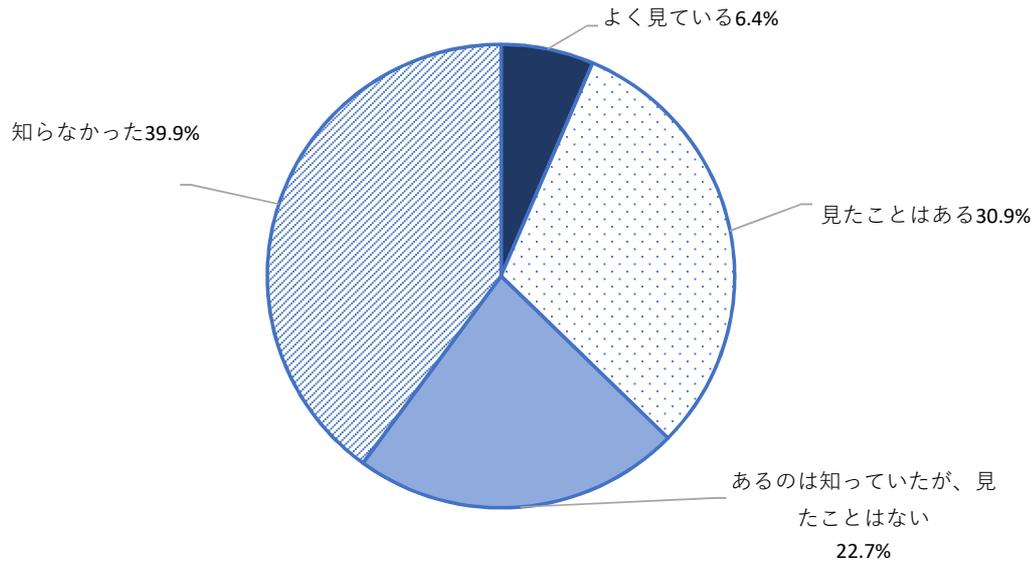
性別



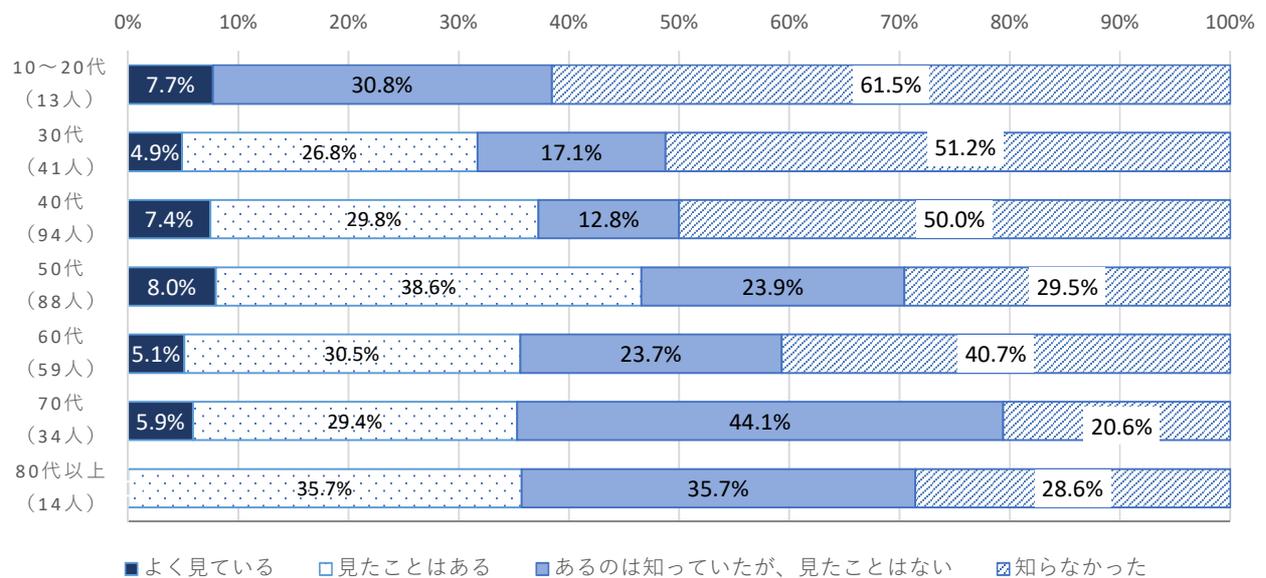
スライドバナーについて、「2枚目以降を見たことがない」と回答した方が最も多く、56.9%であった。「3枚目まで見たことがある」と回答した方が最も少なく5.2%で、逆に「4枚目以降も見たことがある」と回答した方は16.6%であった。

問16 市ウェブサイトのトップページの中段にある「イベントカレンダー」を見たことがありますか？（1つ選択）

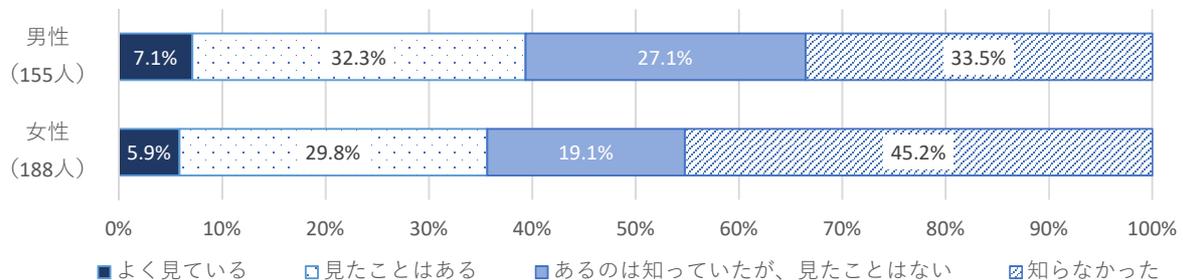
（回答者：343人）



年代別



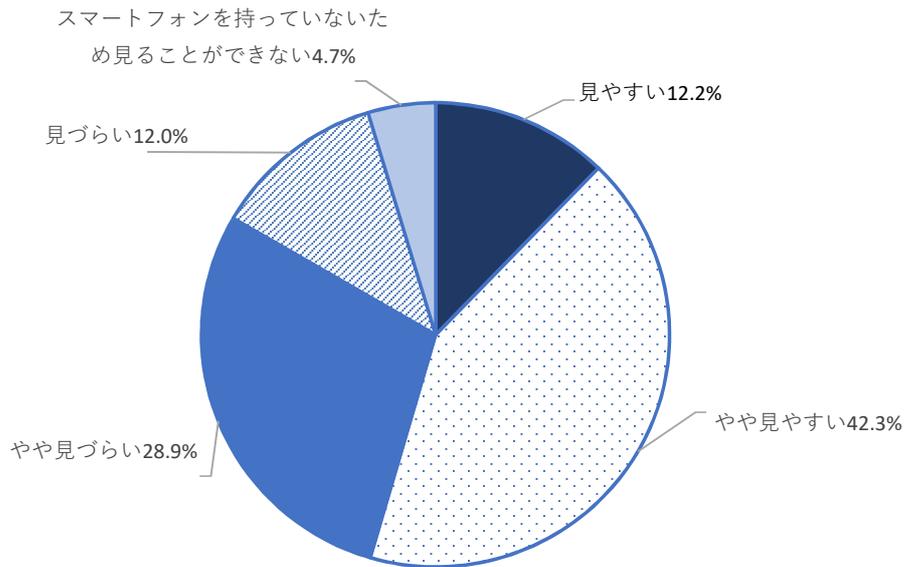
性別



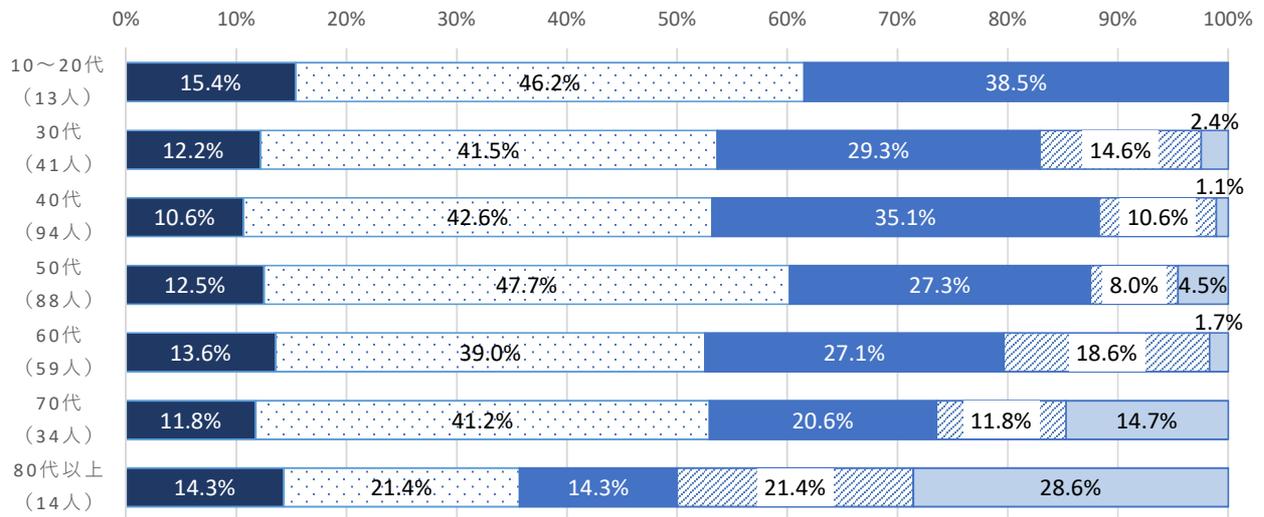
イベントカレンダーについて、「知らなかった」と回答した方が最も多く、39.9%であった。見たことがない方は、全体の62.6%であった。

問17 スマートフォンで見た時、市ウェブサイトのトップページの下段「郡山の取組」エリアにある、横長の長方形の画像（固定バナー）の文字やデザインは見やすいですか？（1つ選択）

（回答者：343人）

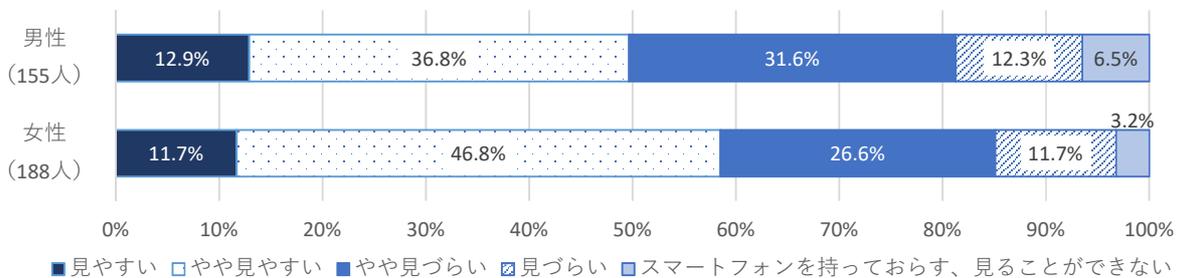


年代別



■見やすい □やや見やすい ■やや見づらい ▨見づらい □スマートフォンを持っておらず、見ることができない

性別



■見やすい □やや見やすい ■やや見づらい ▨見づらい □スマートフォンを持っておらず、見ることができない

固定バナーについて、「やや見やすい」と回答した方が最も多く42.3%であった。一方で、見づらいと回答した方は、全体の40.9%であった。

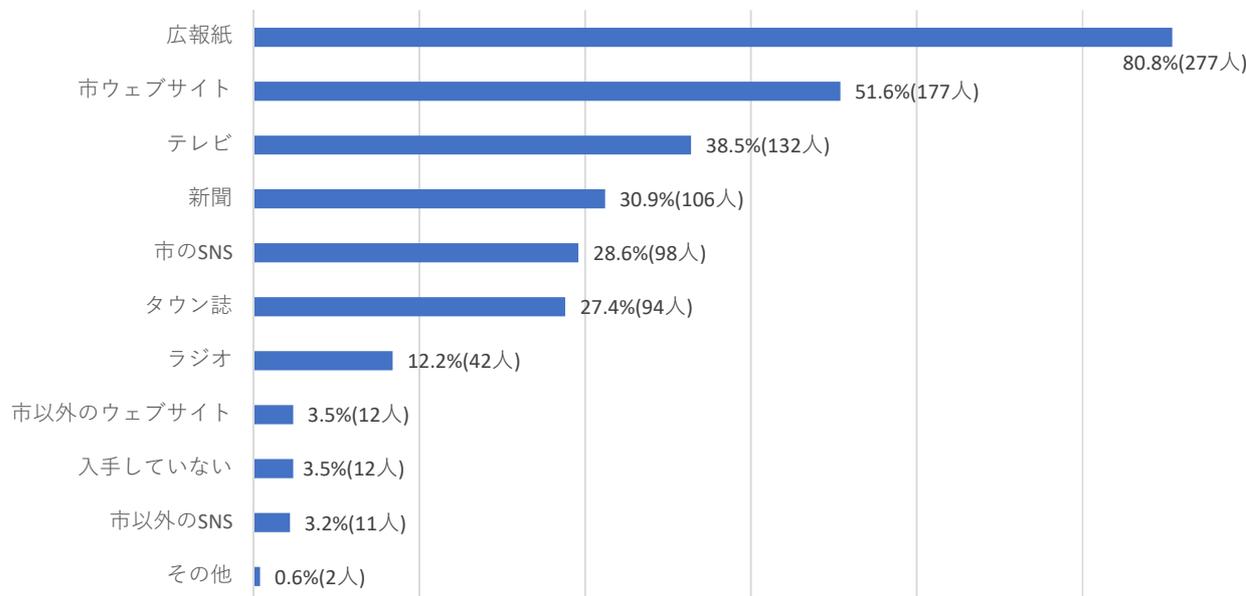
第3章 メディア・SNSなど、その他について

※メディア…情報を伝える媒体。(例：テレビ、ラジオ、新聞など)

※SNS (ソーシャルネットワーキングサービス) …インターネット上で、個人が情報の受信・発信をできるサービス (例：LINE、Facebook、YouTubeなど)

問18 市政に関する情報は何で入手していますか? (複数選択可)

(回答者：343人)



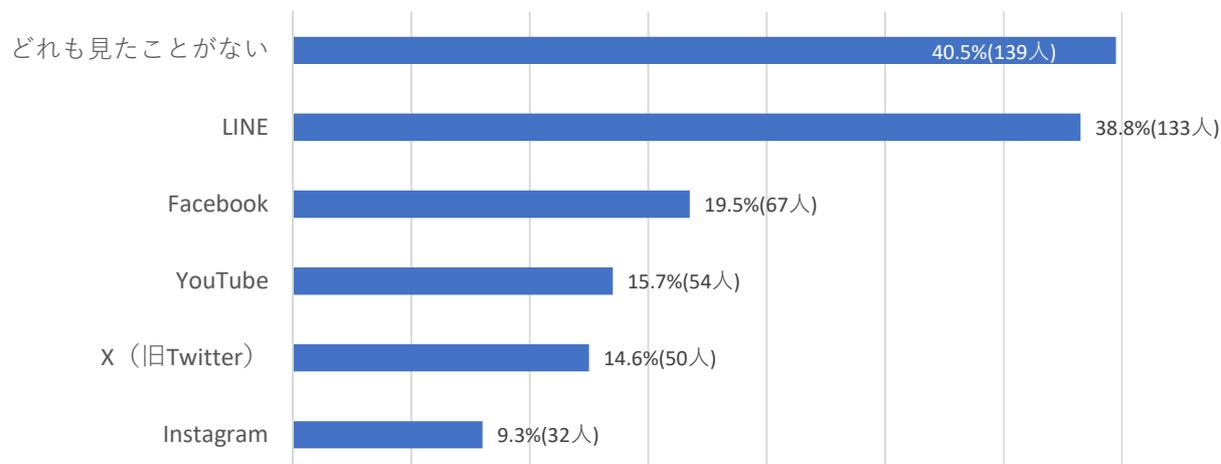
※「その他」を選択した方の主な意見

- ・家族
- ・真剣に街を想う方々からの情報

市政に関する情報収集手段は「広報紙」が80.8%、次いで「市ウェブサイト」が51.6%であった。

問19 市公式SNSのうち、配信している情報を見たことがある媒体を教えてください。(複数選択可)

(回答者：343人)

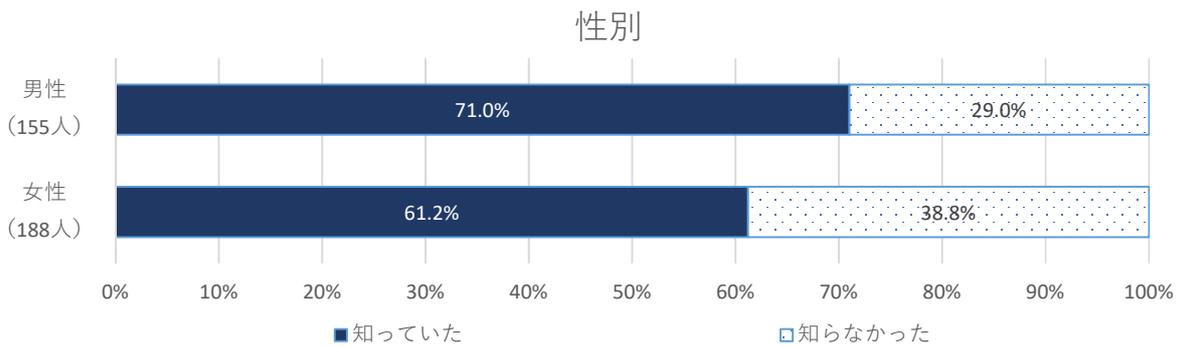
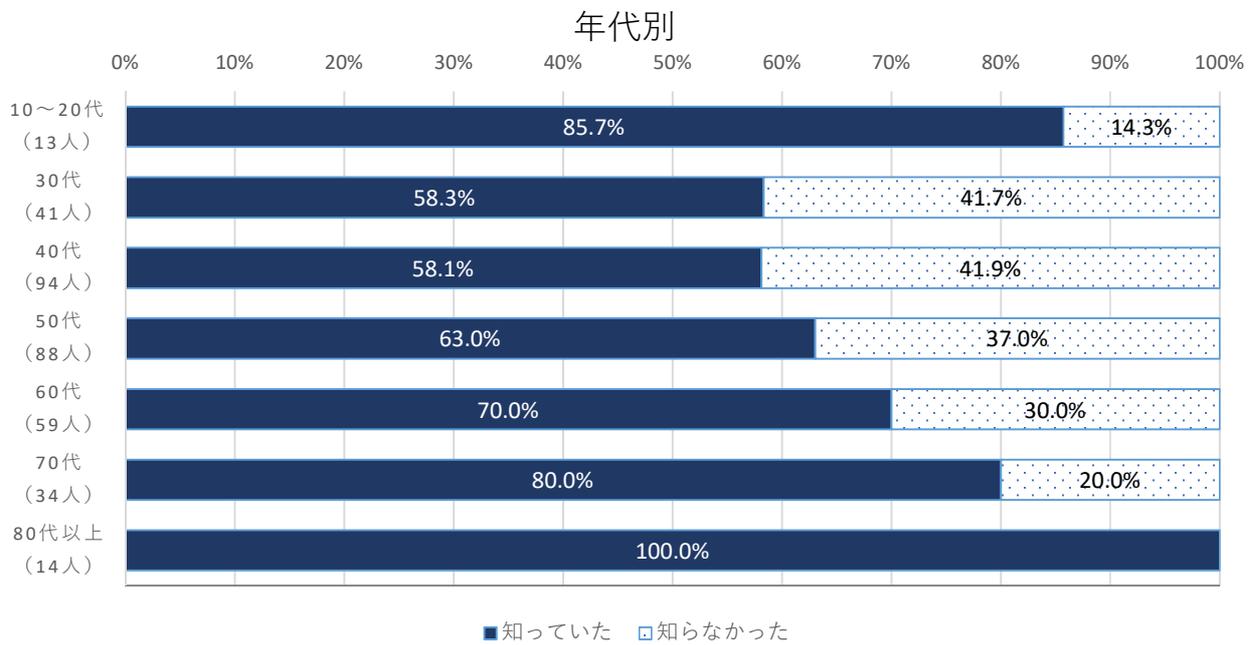
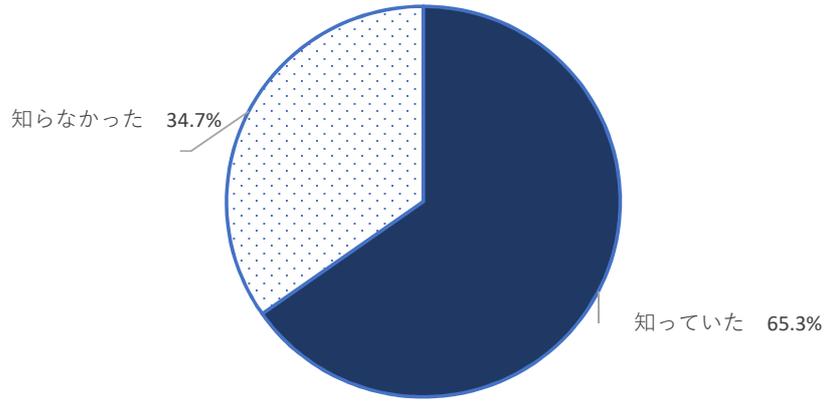


市のSNSで情報を見たことがある媒体は「LINE」が38.8%、次いで「Facebook」が19.5%であった。一方で、4割の方が「どれも見たことがない」と回答した。

問20 市公式LINEを登録している方に伺います。

受信設定をしないと市の情報が届かないことを知っていましたか？（1つ選択）

（回答者：167人）

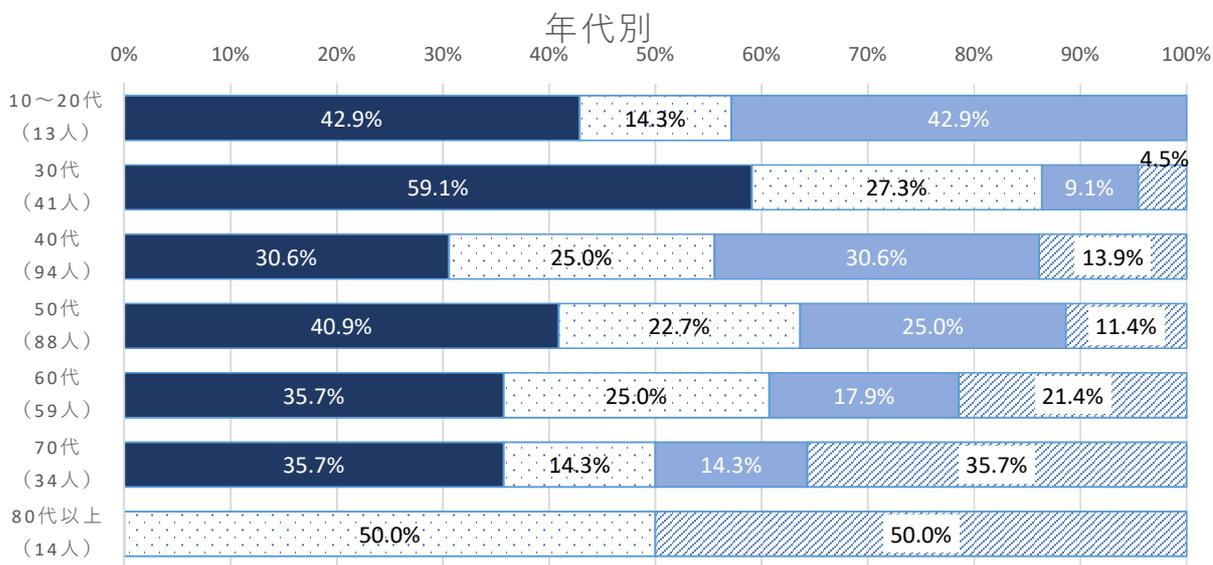
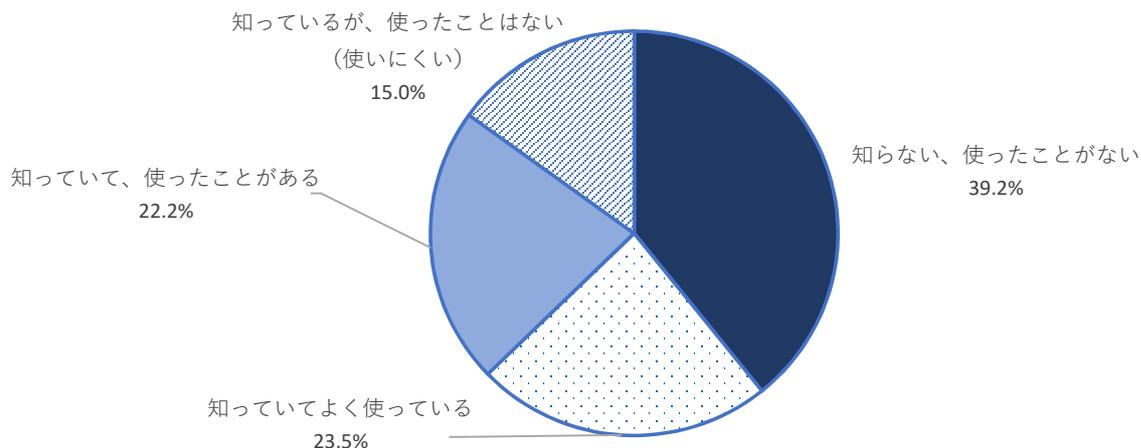


市公式LINEを登録している方のうち受信設定について、65.3%が「知っていた」と回答した。

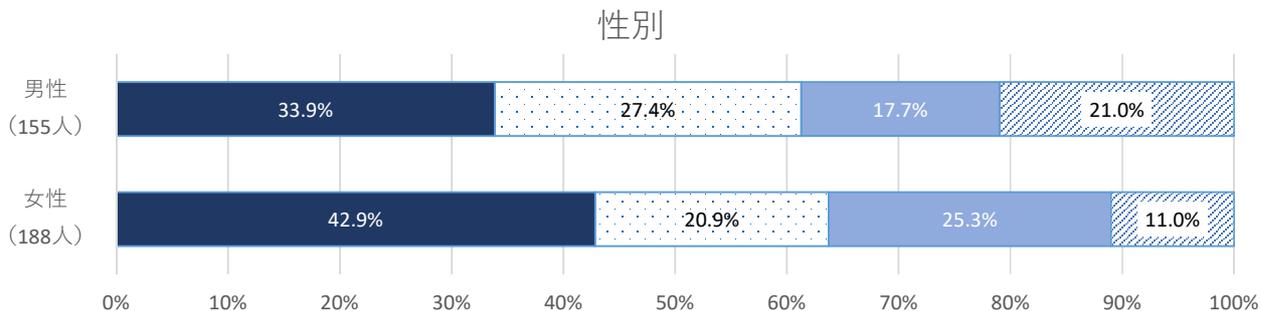
問21 市公式LINEを登録している方に伺います。

市公式LINEでゴミの分別が検索できることを知っていましたか？（1つ選択）

（回答者：153人）



■ 知らない、使ったことがない
 ■ 知っている、使ったことがある
 ■ 知っているが、使ったことはない（使いにくい）
 ■ 知っている、よく使っている

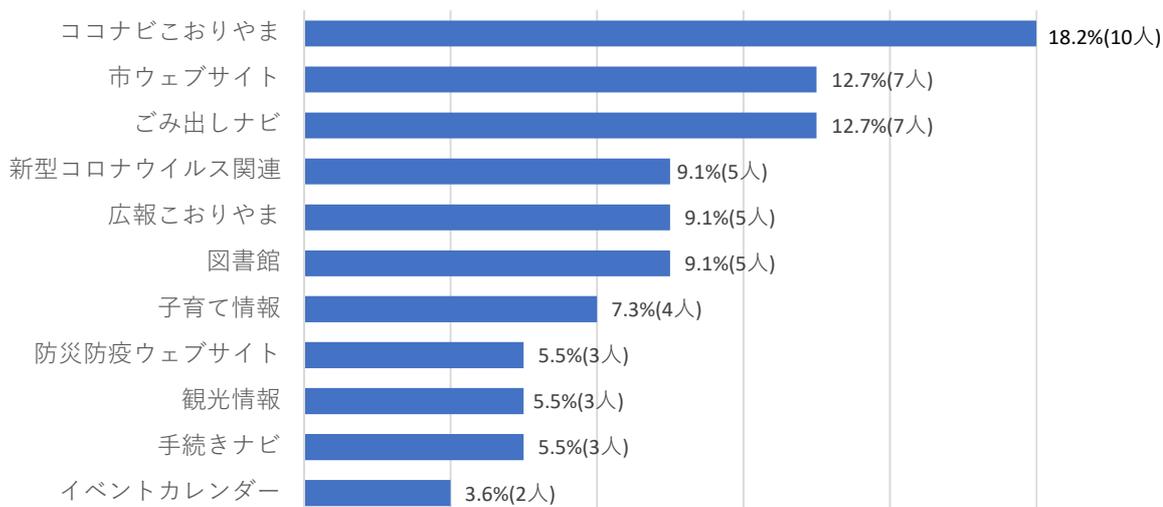


市公式LINEのごみ分別機能について、「知らない、使ったことがない」が39.2%で最も多く、次いで「知っている、よく使っている」が23.5%であった。

問22 市公式LINEに登録している方に伺います。市公式LINEのリッチメニュー（※）で、よく見る項目を教えてください。（記述式）

（※）トーク画面下部（キーボードエリア）に固定で表示されるタイル状のメニューのこと。

（回答者：55人）



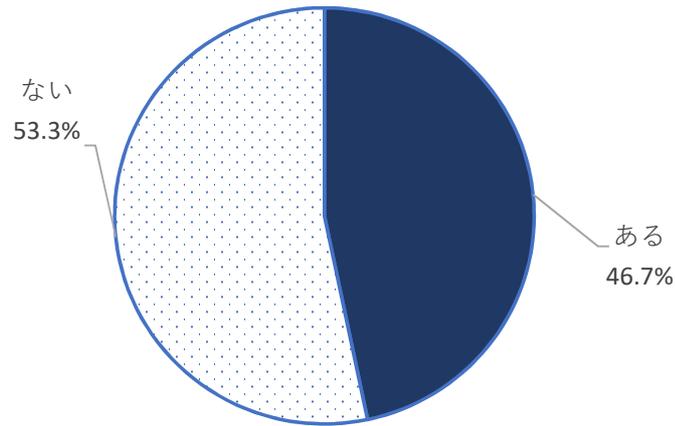
※その他の主な意見

- ・ 公共施設予約
- ・ 休日のお医者さん
- ・ こおりやま広域圏
- ・ ココカラこおりやま！
- ・ 市から発信される情報を見るのみで、リッチメニューは見ない

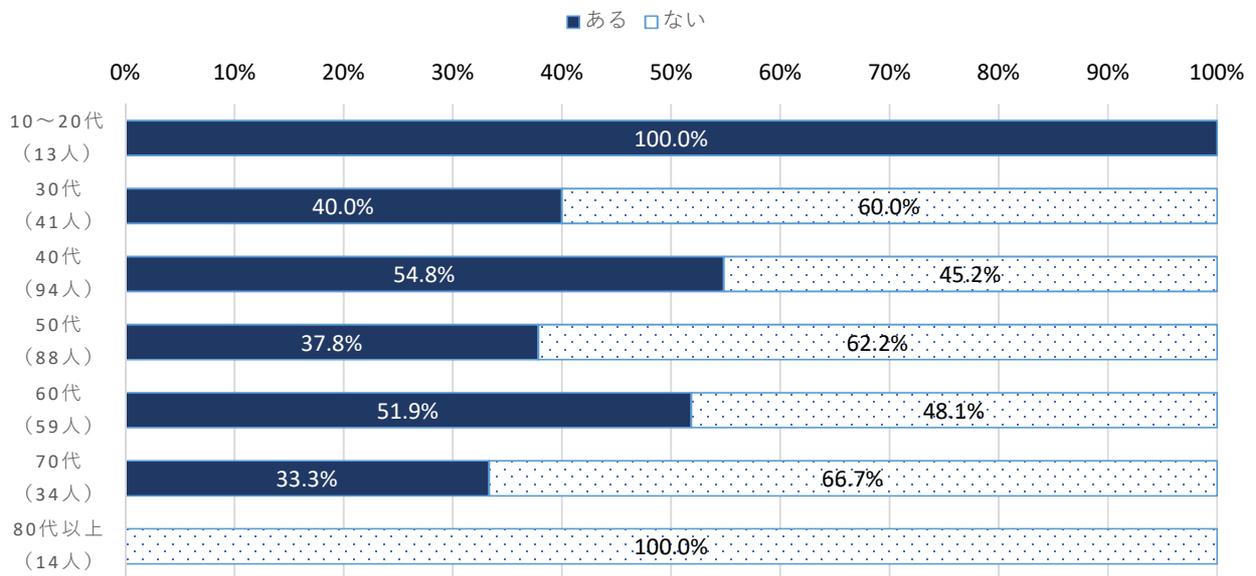
市の公式LINEのリッチメニューで最も見られているのは「コロナビこおりやま」で、18.2%だった。次いで「市ウェブサイト」と「ごみ出しナビ」が12.7%であった。

問23 市公式LINEを登録している方に伺います。市公式LINEのリッチメニューのタブを変えて、情報を見たことがありますか？（1つ選択）

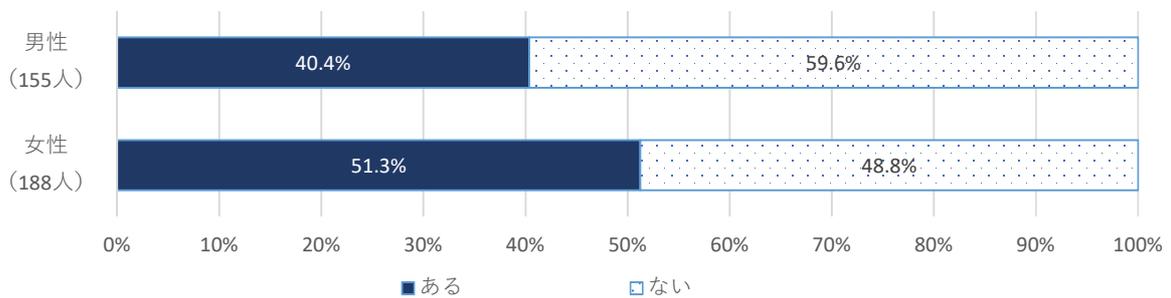
（回答者：137人）



年代別



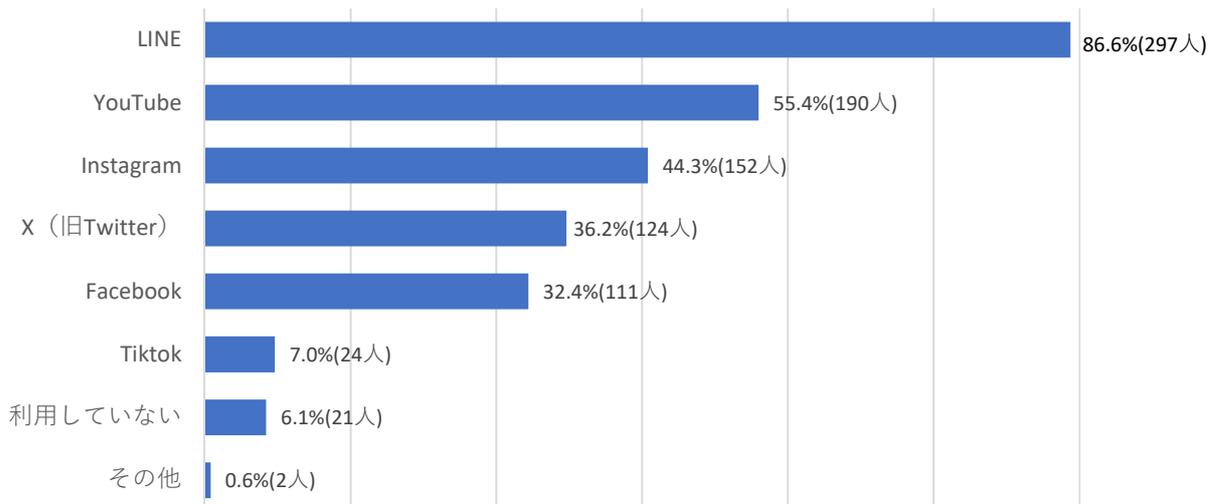
性別



市公式LINEのリッチメニューのタブを変えて見たことがあると回答したのは、46.7%であった。10～20代を除く全ての世代で、45%以上の方がタブを変えたことがないと回答した。

問24 あなたは普段どんなSNSを利用していますか？（複数選択可）

（回答者：343人）



※「その他」を選択した方の主な意見

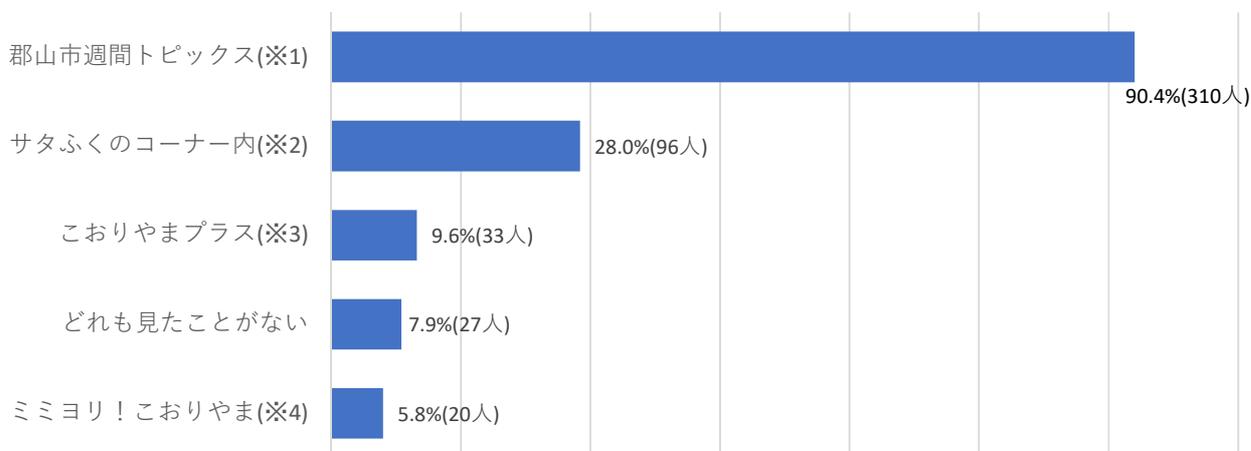
- ・リンクトイン

「LINE」が86.6%、次いで「YouTube」が55.4%であった。

問25 テレビで、市政広報番組を放送しています。

次のうち見たことがある番組を選択してください。（複数選択可）

（回答者：343人）



(※1)福島中央テレビ（FCT）…毎週日曜日 午後5時25分～5時30分、

福島放送（KFB）…毎週日曜日 午後5時55分～6時

(※2)福島テレビ（FTV）…（5分程度）

- ・今年8/19放送「こおりやまらぶ〜」というコーナーで、アイドル鳥越が世界遺産に似ている郡山市のスポットを紹介

- ・今年10/28放送「郡山市市制施行100周年 記念ロゴの驚きの秘密！」というコーナーで放送

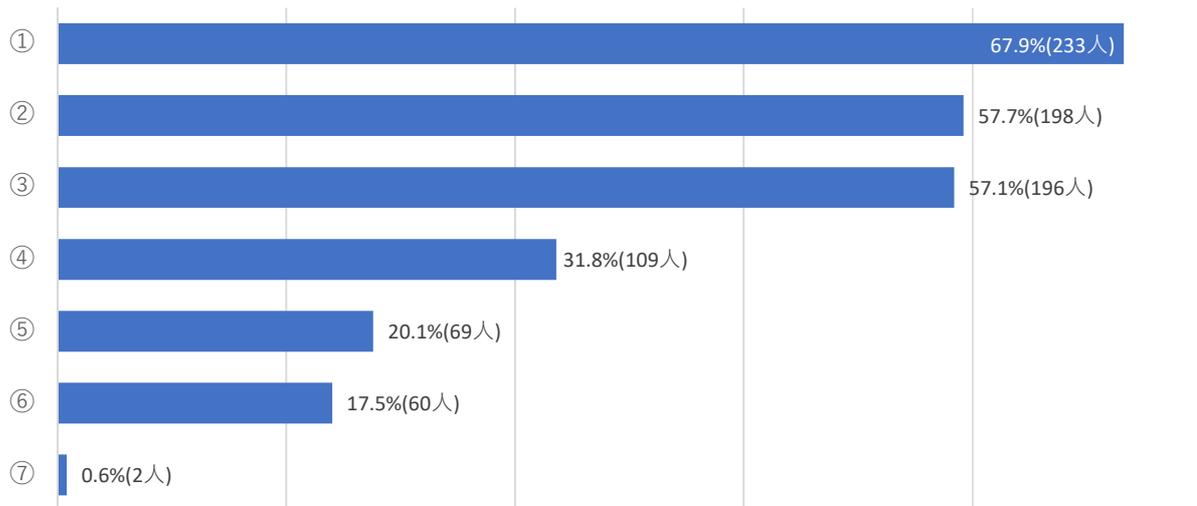
(※3)テレビユー福島（TUF）…年6回放送（6分番組）

(※4)福島中央テレビ（FCT）…年6回放送（15分番組）

「週間トピックス」が90.4%、次いで「サタふくのコーナー内」が28%であった。

問26 市政広報番組として、どんな内容の番組を見たいと思いますか？（複数選択可）

（回答者：343人）



- ①市からのお知らせや行事・募集などを告知するもの
- ②市で実施したイベントの様子が分かるもの
- ③市の最新の取り組みなどを紹介するもの
- ④市のまちづくりなどについて、市民の皆さんが登場し、その取り組みを紹介するもの
- ⑤市長が市の施策について話すもの
- ⑥バラエティ番組のように、芸能人などが市の取り組みを面白く話すもの
- ⑦その他

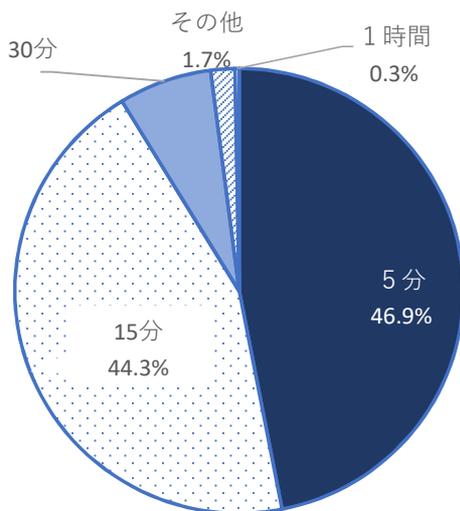
※「その他」を選択した方の主な意見

- ・テレビは視聴しない

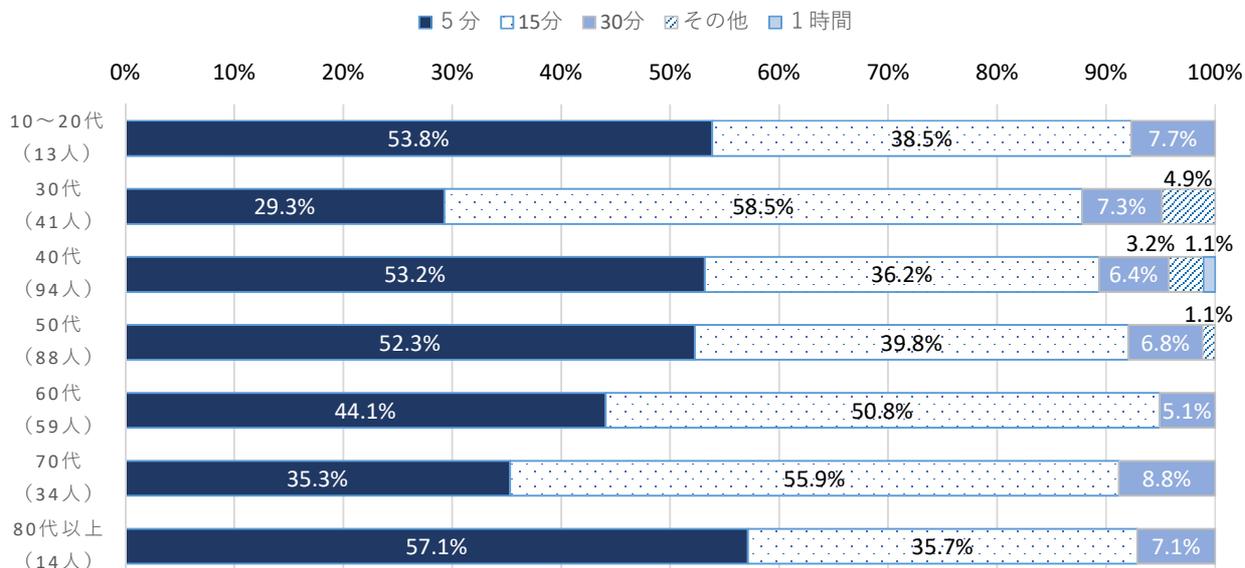
「市からのお知らせや行事・募集などを告知するもの」が67.9%、次いで「市で実施したイベントの様子が分かるもの」が57.7%であった。

問27 市政広報番組の時間について、どの位の放送時間なら見ようと思いますか？（1つ選択）

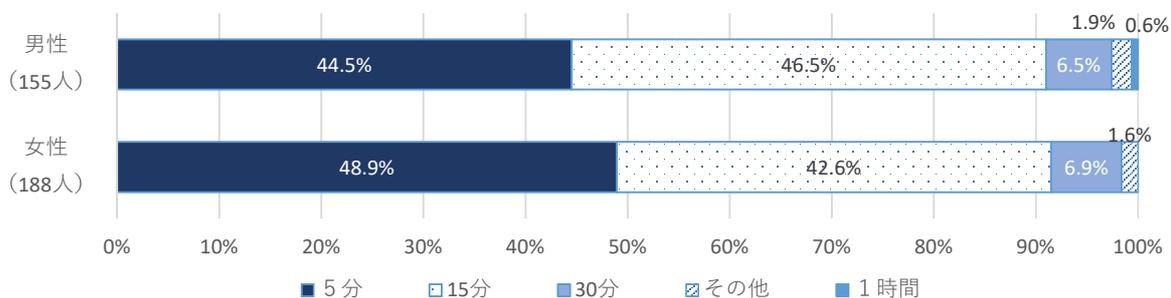
（回答者：343人）



年代別



性別



「5分」が46.9%、次いで「15分」が44.3%であった。

問28 その他、市政広報についてご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。

(自由記述)

(回答者：66人)

【広報こおりやまについて】

- ・市政広報はとても大事だと思います。広報こおりやまは郵便局等でも手に入りますし、SNSでも見る事が出来ます。高齢者は紙面での配布を希望していますが、若い世代はSNSでも可のようです。今後、市政へ反映できる市民からの「声」が反映出来るようになればいいと思います。
(50代・男性)
- ・広報こおりやまは全世帯に配布しなくてもいいと思う。今はネットで見れるので紙の広報が必要な人にだけ配布したほうが、資源の無駄にならない。
町内会から回覧板で配布されるが、町内会の役員の方の仕事も減っていいのではないのでしょうか。
(40代・女性)
- ・とてもしっかり作成されていて好感が持てる一方、紙質や印刷にコストがかなりかかっている、財政面でどうなんだろう？、SDGsとしてどうなんだろう？と思います。(50代・女性)
- ・高齢者にはSNSは難しいので、書面で見られる方がわかりやすいと思います。いつもスーパーでいただけていますが、ない事もあるのでもう少し数があると嬉しいです♪
不規則な勤務なので、休みを希望するのにイベント情報は翌月の事も簡単に良いので日にちだけでも載せてほしい。(50代・女性)
- ・表紙は子どもや明るさを強調したものだけでなく、今月号のような働く人、あるいは生活する姿などのものがよい。(70代・男性)
- ・IT時代になって、紙による広報紙の在り方について検討する時代だと思います。作成の手間、町内会での配布の手間、そして廃棄による資源の無駄など、将来に向け有識者でのあるべき姿を検討してはどうでしょうか。(70代・男性)
- ・広報こおりやまのモノづくりの記事の部分は雑誌のページのように目を引きました。
冊子自体はスーパーなどで目にしますが、表紙のインパクトは手に取るかどうかの判断で大きいと感じるため、同様の工夫だったり見るきっかけ作りがよりできたらもっと認知が上がるのではないかと思います。一定の読者以外にも広がるよう、色々チャレンジしていただきたいです。
(40代・男性)
- ・スマホで広報を見るのは大変。PDFファイルをダウンロードしなくては行けないのが面倒。
スマホで見たとき、QRコードは読み取れないので、リンクを貼ってくれるとありがたい。
(40代・女性)

【市ウェブサイトについて】

- ・市ウェブサイトを見る時は何か目的があって見るのですが、それを探するためのメニューよりもスライドバナーが大きすぎて、目的の内容を探しにくいと感じます。
画面上の比率を見直した方がよいと思います。(40代・男性)
- ・市のウェブサイトについて。以前はとても見づらく、欲しい情報が得られなかった。
いつ変わったのか定かではないが、今のウェブサイトは見やすくなった。(70代・男性)
- ・スライドバナーの5秒は長すぎて次があるのに気づけなかったです。
2,3秒に変更してはいかがでしょうか。(50代・女性)

【メディア・SNS・その他について】

- ・郡山市でキラキラとがんばってる人や企業、また市内で起きたい話など素敵だなと思うことをもっと共有できたらいいなと思います。また困りごとと同じように共有し、どうしていくか市としての取組み、また市民の人にアイデアを募り、まちぐるみで地域をよくする仕組みが出来上がると、商業&人情のまちになり素敵だなと思います。(30代・女性)
- ・もっと見やすい時間帯に放送してほしいです。(40代・女性)
- ・YouTubeで観光紹介や手話を良く観ます。最近、色々な方法で情報を発信しているのを、素晴らしいと応援しています。もっと、その事をアピールしてください。見ていない人も多いようです。(60代・女性)
- ・現役世代に加えて高齢者でも、LINE等を活用している環境下、双方向のデジタル版での広報というのも検討課題です。そうする事でリアルタイムで意見を収集できます。(50代・男性)
- ・デザインが変わっていたり、直感的な画像や写真があったりすると若者の目を引くと思う。高齢の方にもみやすいページを設けるのも必要だが…。今回の産業についてなど、自分の知らない郡山の人、仕事や場所などを知れるのがとても楽しみ。市の仕事なども紹介してもらえるといいと思った。InstagramなどのSNSをもっと活用して、紹介している人のリンクを貼ったり、タグ付けして探しやすくしてもらえると情報を得やすいと思う。(30代・女性)
- ・広報紙は、一見地味な印象がありますが大切な情報源だと思います。市政は、沢山の文字より視覚からの情報が誰でも分かりやすいかと思います。広報番組に関しては、先日見逃した番組があり市のウェブサイトから探しましたが分かりづらく、Yahoo検索よりたどり着きました。しかも局が違うためYouTubeにもUPされておらず残念でした。他の局の番組もYouTubeでUPしていただくと良いのにと思いました。市のLINEや他SNSも色々ありすぎてどれを優先に登録すれば良いのか悩みどころです。(40代・女性)